ライオン誌3月号 2006年（平成18年）2月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第48巻第9号

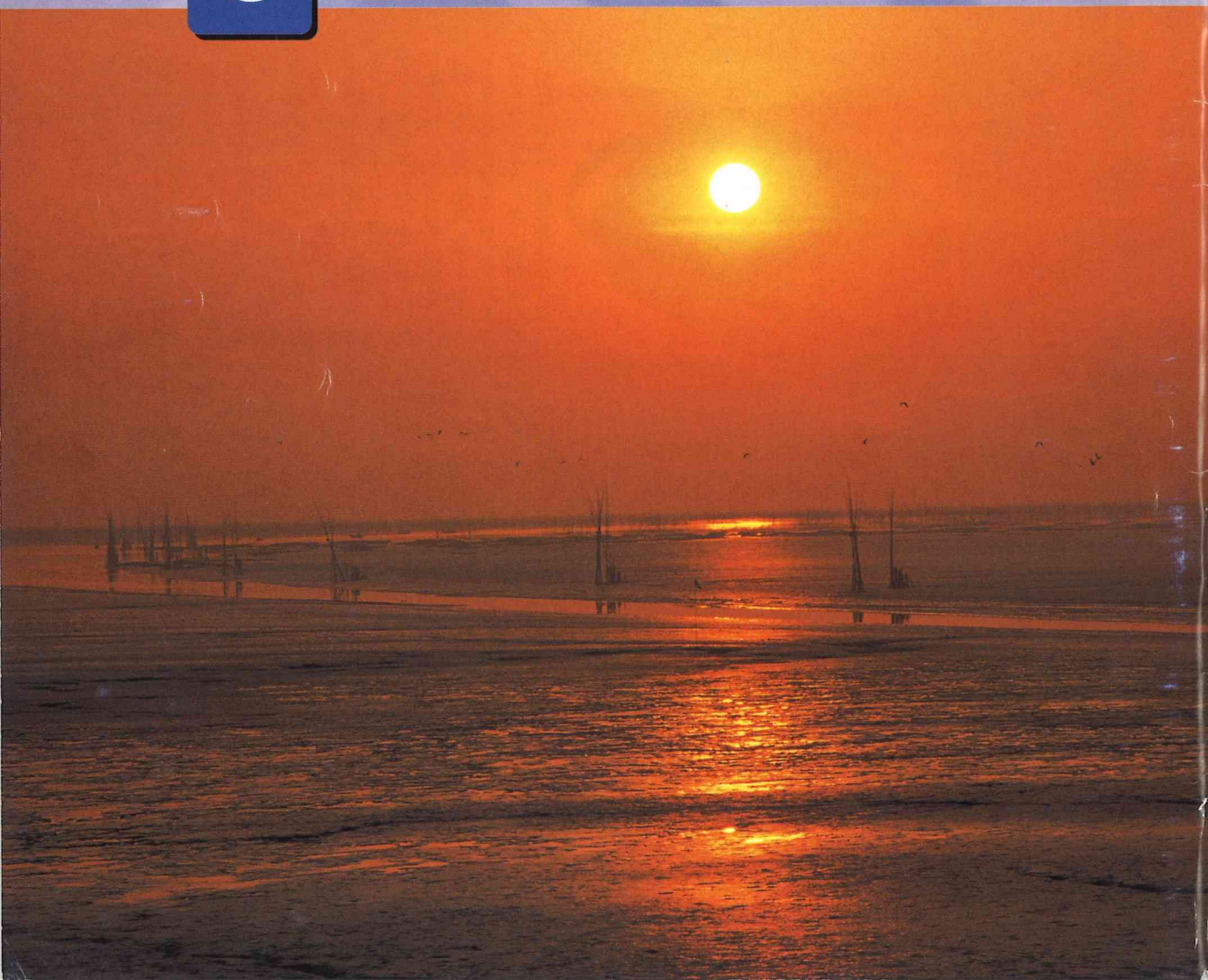
THE Lion

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

March 2006

3

THEME 災害救援ネットワーク
PICK UP ミッション30
ROAR 337複合地区

第48巻第9号

メンズポーチご購入の方に

オーストリッチ製 高級小銭入れ プレゼント!

①メンズポーチ

背面もオーストリッチのフルポイントという贅沢な仕立て。

②長札財布

メンズポーチ **19,800円**(税込)

二光 オリジナルのお値打ち価格

長札財布が驚きの **10,000円**(税込)

セットでさらにお得! **28,800円**(税込)

二光 特別推奨品 ありがとうキャンペーン

最高級のオーストリッチを贅沢に使った宝石のごとき逸品。

「革の宝石」とまで称される最高級皮革のオーストリッチ。中でもフルポイントといわれる、突起模様が全面に入った革は上物とされています。クラッチバッグは、表裏とも上質の証である突起が見てとれ、サイド、底面ともすべてオーストリッチを使用したこだわりの逸品。長札財布も表面はフルポイント、裏・中面ともにオーストリッチ革を使用。アジアでトップクラスの革メーカーが製造したその仕立ては、重厚で堅牢です。

表裏ともに高級オーストリッチのフルポイントを使用。ダブルファスナーで整理がしやすく、収納量も十分です。車の座席脇に置いても安定感があり、小銭などの出し入れもサッとできます。

内側まですべてオーストリッチの革を使用。カード入れなどポケットも多くついて、実用性にも優れています。

オーストリッチメンズポーチ＆長札財布

タイプ	税込価格(本体価格)	商品番号
①メンズポーチ	19,800円(18,858円)	00118-110642-01
②長札財布	10,000円(9,524円)	00118-110876-01
③ ①+②	28,800円(27,429円)	00118-110875-01

税込送料　共通 ♣470円

①〈サイズ〉約縦15×横25×マチ10cm〈重さ〉270g〈素材〉オーストリッチ革〈仕様〉開閉部:天ファスナー式(ダブルファスナー・2室仕様)、背面:ファスナー式ポケット×1、内部:ファスナー式ポケット×1、オープンポケット×1、取っ手付　※中国製

②〈サイズ〉縦9×横18×厚さ2cm〈重さ〉120g〈素材〉オーストリッチ革〈仕様〉札入れ×1、カード入れ×10、ファスナー付小銭入れ×1、オープンポケット×1　※中国製

ご注文は通話料無料のフリーダイヤルで。

0120-22-2500

年中無休　9時から21時まで受付 ※お電話はおまちがいなく。

ご注文は、ファックスおよび郵便ハガキにても承ります。
記入事項●商品番号●商品名(タイプ)●支払い方法(代引き・カード・一括)●氏名(フリガナ)●住所●生年月日●年齢●電話番号●勤務先名●勤務先電話番号●ご覧の雑誌名
FAX／**0120-25-7750**(24時間受付)
ハガキ／〒270-8625 千葉県松戸北局私書箱29号　二光(株)118係宛
●ご注文以外のお問い合わせは、お客様サービス係へ(日・祝日除く、朝9時～夕5時30分)
0120-25-9902(携帯電話・IP電話・PHSからの場合04-7172-9900)

●商品のお届けは、お申込み受付後7～10日前後(ご注文の集中等により、商品のお届けが遅れる場合がございます。)●お支払いは、①代金引換払い②クレジットカード払い(お申し込み時にカード名、番号、名義人、有効期限、お支払い方法をお知らせください。)③商品お届け後の現金一括払い ※コンビニエンスストア・郵便局で。(手数料無料)〔信用情報機関への登録と利用の同意について〕申込者は後払いに係る取引上の判断にあたり、当社が加盟する信用情報機関(株式会社シー・アイ・シー)に照会・登録することに同意するものとします。※当社規定により、お支払い方法を変更させて頂く場合もございます。※一括後払いの場合は、生年月日をお伺いさせて頂きますので、ご了承ください。※携帯電話・PHS等でのご注文は、代金引換払いのみになります。●送料／♣印:何点でも一律470円(税込)、沖縄は1,520円(税込)となります。●万一、商品が異なったり、破損等があった場合は交換いたします。●お客様のご都合で返品される場合は到着後8日以内(返送料お客様ご負担)●印刷の為、商品の色調は現品と多少の違いがある場合もございますので、予めご了承ください。※当社では、商品のご注文やカタログのご請求をいただいたお客様に、西友及びグループ各社をはじめ当社の審査を経た企業の情報をご案内させて頂くことがございます。ご希望されない場合は、お手数ですが 0120-25-9902までご連絡ください。
広告有効期限／2006年5月末日

社団法人 日本通信販売協会会員 JADMA

二光株式会社
〒270-8625 千葉県柏市青葉台2-26-63-0118

We Serve

CONTENTS

表紙メモ

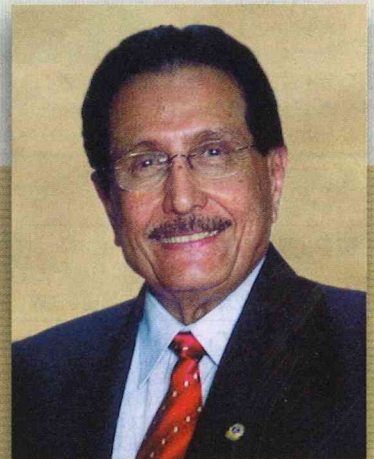
日本の風景
佐賀県鹿島

写真：編集部

デザイン:内田誠治

INTERNATIONAL PRESIDENT'S MESSAGE

国際会長メッセージ

2005-06年度国際会長
アショク・メータ
Ashok Mehta

推進への情熱

The Passion to Promote

ライオンズクラブの活動は、社会の惜しみない支援を必要とし、またそれを受ける価値があります。事業計画や資金獲得の成果を最大限に高めるためには、会員一人ひとりが推進への強い情熱を持たねばなりません。クラブは報道機関との緊密な関係を確立し、現在実施している奉仕活動や、各地域社会の要請に応える今後の事業計画について、人々に伝達し続けるべきです。あらゆる活動を推進しようとする努力は、本年度国際プログラムのテーマ「飛躍への情熱」の実現を左右することになるでしょう。

皆さんのクラブでは、無料の視力検査を実施し、必要に応じて眼鏡を提供しているでしょうか？　地元の学校で平和ポスター・コンテストのスポンサーを務め、あるいは人々に健康診断を提供しているでしょうか？　このような活動や、その他の地域奉仕を実施している場合には、その情報を報道機関に提供してください。クラブに写真撮影の得意な会員がいれば、写真を添えて報告するとよいでしょう。よく撮れた写真は、記事に取り上げられる可能性を高めるはずです。活動の成果を伝える更に効果的な方法は、クラブの行事に記者を招待することです。その際、実施している事業計画のみならず、クラブの略歴、国際協会の目的、本年度国際プログラムの詳細についても、情報を用意しておくべきです。

私たちは、地域社会奉仕に対する強い情熱、恵まれない人々を可能な限り支援するという

《飛躍への情熱》

「ウィ・サーブ」の誓いを、一般の人々に理解してもらう必要があります。最近、南アジアの広大な領域を津波が襲い、ハリケーン・カトリーナはメキシコ湾岸を壊滅させました。これら二つの悲劇への対応を見れば、ライオンズの理念と情熱は明らかです。私たちの貢献を立証するには、自らを語り続けなければなりません。ライオンズの成果を認識すれば、人々はその奉仕と資金獲得を惜しみなく支援してくれることになるからです。推進への情熱は、自らの利益、名誉、称賛ではなく、活動への支援を得ることを目的としています。社会の支援を確保することにより、私たちは一層の時間とエネルギーを傾けて、地域や人々の要請に応えることが出来るでしょう。

　クラブの地域的な活動を知ってもらうことも大切ですが、国際的な組織としてのライオンズを強調することも重要です。私たちは慈善事業のために、毎年平均して七億四千百万ドル以上もの資金を提供しています。また、七千万時間以上の時間を割いて、地域社会奉仕に取り組んでいます。「ライオンズは町で最も知られざる存在である」という言葉を、皆さんは幾度も耳にしていることでしょう。このような状況は、何としても覆さねばなりません。そのための最も有効な方法は、新聞、テレビ、ラジオ、時には有料広告を用いてでも、ライオンズの成果と目的に対する社会的認識を高めることです。ライオンズのイメージを燦然と輝かせる唯一の方法は、会員の一人ひとりが責任を引き受け、あらゆる活動の成果と飛躍への無限の情熱を、人々に伝達し続けることなのです。

インド・ハイデラバードで行われた2005年度ライオンズ世界視力デーの式典で、ハイデラバードのライオンズが視力ファースト・キャンペーンⅡに献金した40,000ドルを紹介するメータ会長たち

　またその際には、現代技術を最大限に活用するべきです。インターネットは特に重要であり、この媒体を通して情報を入手する人々は年々増加しています。従って、私たちはインターネットの有効活用を追求しなければなりません。皆さんのクラブや地区にはウェブサイトがありますか？　他国や外部の人々とのコミュニケーションを高める上で、ウェブサイトは極めて有効な手段となります。こうしたあらゆる努力は、ライオンズの地域貢献に対する人々の認識を高め、新会員を確保することにもつながるはずです。

　社会的認識の向上は、ライオンズが地域社会奉仕の第一人者としての立場を強化し、最大限の成功を収めるために不可欠です。各クラブの継続的な優先課題として、推進への情熱を追求しようではありませんか。

ブはどう行動すべきか
の提言をめぐって

度重なる台風の上陸、集中豪雨、地震、豪雪……。災害は忘れるいとまもなく日本列島を襲っているように見える。

備えあれば憂い無しと言うが、憂い無しと言えるほど私たちの備えは万全だろうか。情報伝達のシステムは出来上がっているだろうか。いざ出動という時の救援体制は整っているのだろうか。全国のライオンズの総合力はとてつもなく大きいはずなのに、その力を十分に発揮出来る体制になっているだろうか。出来ていないとすれば、何が足りないのだろうか。

災害を巡る情報伝達体制と、救援体制などについて報告する。

キャビネット事務局はがら空きだった

二〇〇四年十月二十三日午後五時五十六分、新潟県中越地方を、震度七の激震が襲った。十五分後、再び震度六強の烈震が襲う。二十分後再び烈震、更に夜七時四十六分ごろ、震度六が急襲する。

この年、333・A地区のキャビネット事務局は、新潟県長岡市に置かれていたが、長岡市自体が激震にさらされ、地区ガバナー始め地区役員、それに事務局員も被災していた。当然ながら、キャビネット事務局には全国のクラブから問い合わせが殺到した。が、電話はもちろん不通。事務局も無人状態だった。

キャビネットが緊急会議を召集出来たのは地震発生から三日がたった二十六日のことだった。このころになると電話も通じるようになった。殺到する電話に、事務局長一人で対応しなければならなかった。余震が続く中での必死の対応だった。

地震になれば、電話はほとんど不通になってしまう。特定の地域に全国から安否を尋ねる電話が殺到するからだ。電話局が緊急回線を確保するために、一般電話を強制的に切断してしまうこともある。携帯電話は一般電話よりも先に不通になってしまう。こうなると現地情報を知る手立てがない。

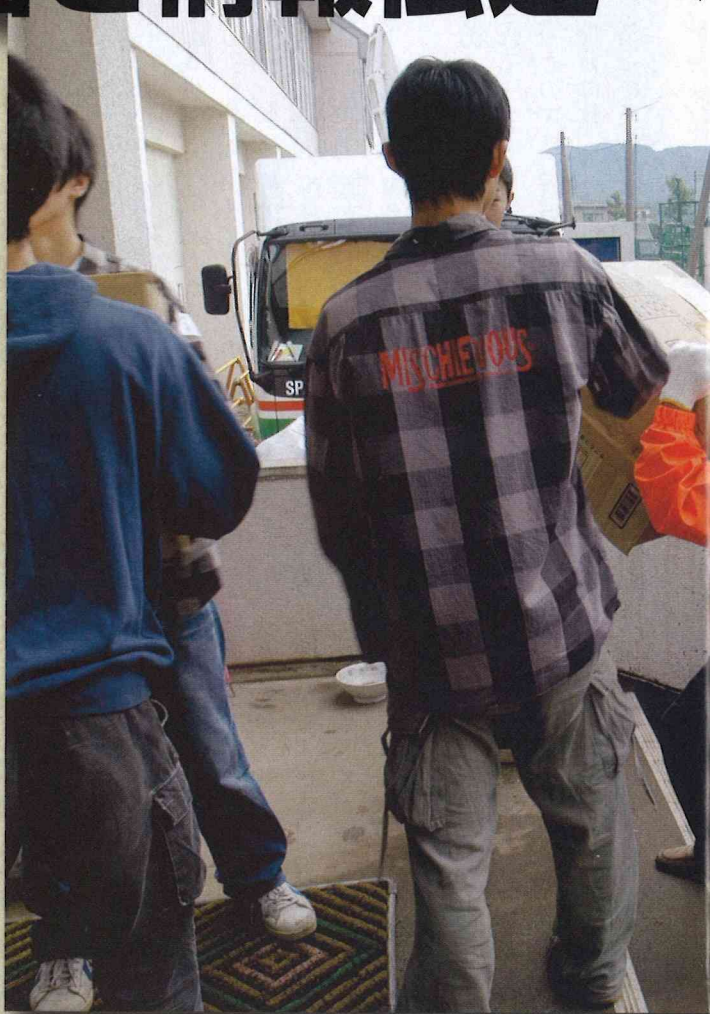
ところが、新潟県中越地震では、別の情報伝達手段が大活躍していた。国際協会公認ネットワーク「ラ

THEME

その時ライオンズクラ

災害と情報伝達へ

イオンネット・ジャパン」が活用されたのだ。ライオンネットでは、333-A地区のホームページ上に設けられた「震災掲示板」で長岡ライオンズクラブと連絡を取り合い、全国のクラブから寄せられた救援物資を携え、兵庫、大阪、千葉の有志ライオンが、現地へ急行した。

情報伝達一つとっても、緊急災害時には、平常考えていたことを超えて、予測のつかないことが起こる。日頃から緊急時に備えた体制をとっておく必要がある。被災地のクラブにとっても、また、被災地以外のクラブが緊急支援に向かうためにも、平常からその心構えが必要であることは、誰もが感じている。それなのに、体制整備は、あまり進んでいるとは言えない。

被災地元のライオンズは被災直後何も出来ない

一九九五年に起こった阪神・淡路大震災の後、当時の松原文彌国際理事は『ライオン』誌四月号で日本ライオンズのタスク・フォースの実現を訴えて、「地区及び日本レベルで危機管理機能、救援組織を持つ必要がある」と提言している。

この震災で335-A地区災害対策特別委員会委員長を務めた故・多久良男元協議会議長（神戸垂水ライオンズクラブ）は、この提言を受けて、こう話していた。

「阪神大震災という未曾有の震災が起こったことを機に、全日本レベルでこの提案を受けて真剣に検討されなければならないと思います。なぜそうした検討委員会のようなものを作らないのでしょうか。義援金を早急にどこへどのような形で送ればよいか。あるいは各クラブの対応の仕方を徹底し、ルールを決めておくことが大切です」

また、九五-九六年度335-A地区ガバナーを務め、震災後の復興を担った故・団忠夫元国際理事（神戸イースト・ライオンズクラブ）も本誌の取材に対し、「国際会長や国際理事が、タスク・フォースの結成を提案されています。この提案を、行動に移してこそ意味があるのであって、考えているだけでは何もならないのです。こうしたものが国際レベルで実現すると、ライオンズの評価も変わ

ってくるでしょう」と、答えていた。

生き残る知恵をまとめ被災地区が作成したマニュアル

阪神大震災という未曾有の体験を踏まえて、335‐A地区では一九九九・二〇〇〇年度、地区特別委員会として災害救助対策委員会を設置した。震災の体験を生かしたマニュアル『災害対応への提言』を作成しようというのである。

二〇〇〇年七月に完成したマニュアルは、A4判六十六ページに及ぶもので、二部構成となっている。第一部は「災害時の市民生活マニュアル」と名付けられ、地震や水害に対する一般的な知識を集約し、地震発生時の対処の仕方についての「生き残りの知恵」を詳細に解説している。阪神大震災時の体験を踏まえているだけに、「生き残りの知恵」は詳細を極めている。これだけを小冊子にまとめて市民に配布しても十分に役立つ内容である。

第二部は「提言・災害時のライオンズクラブの役割」と題されている。二十四ページが費やされた、このマニュアルの中核部分で、提言は救援・復旧・復興と時系列を追って述べられ、行動のためのガイドラインが示されている。

まず、被災地情報の収集とそれをどのように中継して伝達していくかが述べられ、次いで自治体、公共機関への伝達、全国クラブへの情報発信の仕方、インターネットの活用、ボランティア活動との連携、地区連絡網の構築に関して、詳細な提言がなされている。

この後、被災者救援活動に対する提言、救援物資・器材の調達、ボランティア活動支援制度の提言、ボランティア活動援助金申請制度などいくつかの提言や、平常時のライオンズクラブの防災活動などについての提案をまとめてある。六十六ページの全ページにライオンズの使命感があふれた意欲的なマニュアルと言えよう。

335‐A地区では単一クラブでも、西宮甲山ライオンズクラブが災害時の緊急支出について細則を定めている。緊急災害別途積立金を作って資金を積み立て、百万円までは会長・幹事・会計の決定で支出出来るとし、これに副会長を加えたメンバーで二百万円までの支出が出来るようにした。このようなシステムが全国に広がるだけでも効果は大きい。

タクス・フォースを結成して緊急出動に備えよう

二〇〇五年九月には、鳥取県と岡山県をエリアとする336‐B地区（合田五一地区ガバナー）が、自然大災害発生時のライオンズの対処、実働計画、災害緊急援助チームの規則、ガバナー方針などをまとめて発表した。この地域は気候が温暖で、災害の少ない地域と言われてきたが、二〇〇四年九月の台風十六号で兵庫県境から広島県境までの海岸線で床上・床下浸水一万戸という被害を受けた。これが直接のきっかけとなった。336‐B地区では地区内百二クラブから若手会員百七十九人を選りすぐって「災害緊急援助チーム」を結成、併せて、この行動細則を作ったのであった。

336‐B地区では、この行動細則の制定に当たって、本誌二〇〇五年一月号に掲載された神戸垂水ライオンズクラブ結成四十周年記念のパネル・ディスカッション（二〇〇四年十月）を参考にしている。神戸垂水ライオンズクラブは多久元議長のクラブで、パネリストには亀井良次元国際理事と、前年度国際理事会アポインティーを務めた秦三郎元協議会議長が名を連ねていた。

その中で秦元議長が、国内奉仕のための基金積み立て方式を提案して、次のように発言している。

「国境なき医師団というのがありますが、ライオンズでも災害救援チームを作ってはどうでしょう。医師、建築士、運送業の方、そういう方に予め登録して頂いて、全国の会員が例えば年間一万円ずつ出して五年間蓄えれば、現在十三万人いますから、六十五億円くらいになります。それを基金にして医療品などに使えば、地震などの被災地救援に即座に対応出来るわけです」

336‐B地区の合田ガバナーは、これに共感して、災害救援チーム構想を発案。具体的には、ライオンズ・デーである十月八日に、全国の会員が一斉に街角に立って、緊急災害時のための募金を行い、その募金を地区で蓄えて、緊急資金として活用してはどうか、と提案していた。

また、団元国際理事と同期の地区ガバナーで、阪神大震災後、「ライオンズでは今、何が出来るか」を、団元国際理事らと共に模索した経験を持つ330‐A地区の宇田川雄弘元地区ガバナー（東京練馬ライオンズクラブ

は本誌〇五年二月号に寄稿し、読者に「何が出来るか」を問いかけた。

「一週間、十日後の毛布や食料より、直後の『おにぎり一個』を被災者に届けるためのネットワーク作りと、災害地に歓迎される、ライオンズクラブにふさわしい地域密着型のケアを一緒に考えようではありませんか。災害支援は明日では遅すぎる！」

誰もが必要だと考えているのに具体的な行動として全国に広がらないのは、やはり、災害をどこか対岸の火事のように見ているからなのだろうか。

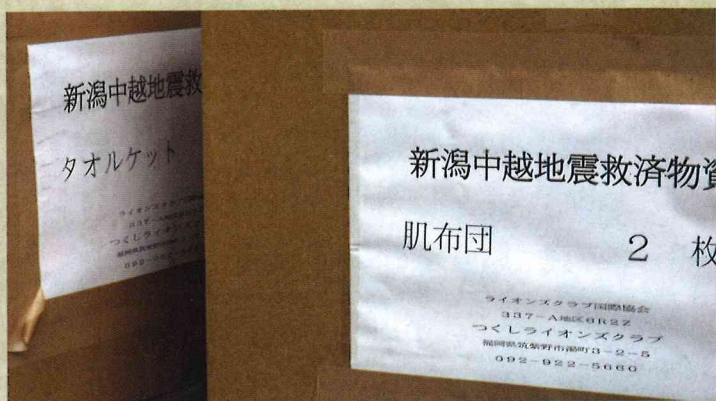
どんな順序でどのように被災地情報を素早く伝えるか

災害を経験しないと、事の重要さが理解しにくいという事情は、被災地情報の伝達方法についても言えるようだ。いざという事態にならないと、情報伝達がいかに重要であるかが、なかなか徹底しないのが現状のようだ。

335-A地区の『災害対応への提言』では、体験に基づいて、情報収集と伝達について、守るべきことを詳細に決めている。

まず、伝えるべき情報は基本的に実際に目で見て確認した情報であること、風聞とは厳密に区別すること、情報の発生または確認した日時、場所、連絡者名を明記すること。また伝達方法は電話、ファクス、電子メール、電報、無線など各種手段を駆使し、クラブ会員にこだわらず協力者を求めること。出来事が時間を追って変化する場合は、日時を確認して追加報告を行うこと。情報を緊急対策本部に集約する場合は災害救助対策委員会が情報連絡網を確立して、バックアップ体制を整えること。緊急対策本部の人員が不足だったり被害にあった場合は、二次的な連絡網と中継所を用意すること、また、すべての報告事項を記録することも強調されている。

更に、緊急対策本部はIT委員会と協力して集約した各種情報をホームページで公開し、インターネットを活用することも提言されている。

二〇〇四年七月、新潟、福井を襲った水害では一通のメールが緊急支援の発端になった。兵庫県・明石魚住ライオンズクラブの橋本維久夫はその日、NPO大規模災害対策研究機構の事務局長から一通のメールを受け取った。被災状況を伝え、水害時の緊急物資として、タオルを提供し

てほしいというメールであった。

ライオン橋本は直ちに、IT関係のメーリング・リストをもとに、全国に緊急支援を呼び掛けた。五分と経たないうちに反応が次々と寄せられた。ITボランティアの輪は急速に全国に広がり、結局、福井には百九十カ所から九万四千五百三十枚、新潟には二百五十七カ所から十二万三千百五十六枚のタオルが贈られた。まさにIT連絡網による成果であった。

この時、受け入れ側の新潟で連日、タオルの配送を担当したライオン石平悟郎（新潟八千代ライオンズクラブ）は当時を振り返り、こう話している。

「今回の活動から次のような必要性を感じました。救援は迅速に、復旧に必要な物を。物資は機動性に配慮した大きさで、中身の表示を。ボランティアを支援する活動も必要。迅速に対応するために複合地区くらいの単位で物資のストック基地を設ける。被災地近隣に所在するクラブが窓口になり体制整備とネットワークの整備をする」

ITをいかに活用するか 情報の発信と管理をどうするか

災害発生時に、ITが効果的な役割を発揮することは次第に認められてきた。が、実際に、これを有効に活用するにはどうしたら良いのか、災害時の情報は、どのように発信され、どこが有効に管理するのが良いのか、具体的に決まったルールはいまだ無い。

〇五年十月、仙台で開催された〇SEALフォーラムの協賛プログラムとして、ITフォーラムが開かれ、分科会Cで「災害時の情報伝達とIT活用」を巡って、活発な論議が展開され、提案は二十八に及んだ。

各県単位に発信者を決めておいてはどうか。キャビネットに情報発信の委員会を設け、何を、いつ、どこへ、どのように配信するかマニュアルを作成したらどうか。災害時はインフラの問題を考えると、BBS（ネット上の電子掲示板）を活用したらどうか。携帯からサーバーなどへ、メールを使って記載出来るようにしたらどうか。ライオンネットにBBSを設置して利用しようではないか。

情報の集約をどうするかも議論された。相当量の情報があればパニック状態にならないから、地区キャビネットに集約して管理し、ホームページに掲示してはどうか。いや、キャビネットが統括出来るとは限らないので、情報は共有するようにしたら良いのではないか。緊急時にキャビネットまで情報をあげるのは無理だ。クラブ単位、個人単位でまず動ける人間が情報収集に当たるべきだ。情報の収集は近隣のクラブが行い、複合地区で管理してはどうか。議論百出の状態であった。

誰が情報の収集を行うのかも議論になった。各地区のクラブのホームページに災害大規模事故情報のコーナーを作って、情報を収集・発信する担当者を決めておいてはどうか。被災クラブのIT委員会が情報を発信し、キャビネットに送信してはどうか。アマ無線資格者をキャビネットで把握し、IT委員と連携して活用してはどうか。更には実践活動のための防災担当部署を設置して、IT部門との連携を図ったらどうか、という提案もなされた。

ITを活用することに異論は無くても、いざ実行という段階になると、やはり情報とは何か、誰が発信するのか、どこが集約するのか。決まったルールが無いだけに、議論は果てしない。

熱気を帯びた議論から浮かび上がった課題は、あの335-A地区が作成した情報発信への提言が示唆している方策とも共通していた。早急な検討と、全国的な合意によるマニュアル作りが望まれる状況が、徐々にではあるが、熟してきているようだ。

災害列島が待ったなしの状況に置かれていることは誰もが認めている。ライオンズの対応に関してもまた待ったなしの状況に置かれているのかもしれない。

篠﨑淳之介（ルポライター）

■国際理事会アポインティー
栢森新治
（愛知県・名古屋ウエスト）

CSFⅡを通じて会員の心の結集とライオンズへの社会的認識向上を

世界的にも日本でも、ライオンズ会員の減少が続き、毎年のように会員増強が叫ばれています。ライオンズクラブ創設から既に九十年近くになりますが、一説に「企業の寿命は三十年」と言われています。しかしこの寿命は、社会の変化に対応し、時代に合った組織や規則を作り行動していくことにより、延ばすことは可能です。

ライオンズでは、二〇〇二年にMERLチームが結成されたのを始め、その後インパクトチームやミッション30などを立ち上げ、新クラブ結成や会員増強に対する非常に効果的な数々の施策を講じ、素晴らしい成果を上げてきました。が、残念ながら退会者やクラブの解散が後を絶たず、決定的な成果には結びついていません。全世界で退会者の半数弱は入会三年以内、解散クラブの約四〇㌫は結成四年以内であるという統計結果も出ています。

アメリカでは一九七〇年の中ごろ以降、あらゆる市民組織で会員が二〇～五〇㌫減少しました。二十世紀初頭に結成された組織は、百年の年月を経て、消滅する危険性があると指摘されています。これを未然に防ぎ発展を続けるためには、今までの組織を徹底的に洗い直し、再構築しなければなりません。革新とは、新しいアイデアを出すのではなく、今までの体制から脱皮することであります。

今やライオンズやロータリーよりも、グリーンピースやシェラクラブなど、直接事業の成果が出る団体に、市民の目は向いています。その点からも、今年度スタートした視力ファースト・キャンペーンⅡ（CSFⅡ）は、ライオンズにとって非常に注目すべき事業ではないでしょうか。

九〇年、視力ファースト（SF）による「失明の予防及び治療」の国際的活動が始まり、二〇〇四年末までに世界七十九カ国で数億人に対する視力ケアの改善、二千四百万人以上の失明予防、二百五十以上の眼科診療所建設、約六万八千人の眼科医・看護士の育成など、多大な成果を上げました。SFに対する献金総額は運用益も含めて二億㌦にも達し、日本はこのうちの三六・五㌫を拠出しました。

一人の失明者の回復や予防に費やされたお金は六百円弱。わずかコーヒー一、二杯分で、一人の失明者が救われるのです。失明者の家族の負担も考えると、一家族四～五人として一億人以上の人々に寄与し、そのうちの約四千万人が日本からの拠出金によるものということになります。

SFの成果は国際的に非常に高い評価を受け、活動継続と、糖尿病の急増などによる新しい失明の問題等にも対処すべく、今年度から三年計画で開始された資金調達事業がCSFⅡです。目標額は一億五千万㌦、それに努力目標を加えた金額で二億㌦、日本の目標は五千百万㌦となっています。

全国のクラブには昨年の早い時期から、三年間で会員平均五百㌦の献金を誓約する「モデルクラブ」に申請頂くようお願いをしておりましたが、六百八十二クラブと、全クラブの二割に上り、メンバーの関心の高さと積極的なご協力に、ただただ感心し感謝する次第であります。

今、私たちがすべきことは、この美しい地球を未来の子どもたちに引き継ぐこと、地球規模での平和と繁栄のために生きることではないでしょうか。このCSFⅡを成功に導き、全世界でライオンズクラブが由緒ある素晴らしい奉仕団体であると認められるよう、会員の皆さまのご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。

pick up ピックアップ

明快な目標「チャレンジ・プラスワン」の達成に向けて追い込みを

■鼎談出席者

後藤隆一（ミッション30国際チーム・リーダー／元地区ガバナー／千葉県・柏中央ライオンズクラブ）

杉田貞治（ミッション30国際チーム・リーダー／元地区ガバナー／熊本県・菊池ライオンズクラブ）

■司会

中田勝昭（ライオン誌日本語版編集長／元地区ガバナー／大阪府・大東ライオンズクラブ）

今年度メータ国際会長の最重要プログラム「ミッション30」。ミッション30チームは、全世界を三十のエリアに分け、国際会長自らが選任した各エリアのリーダーを中心に構成されている。複合地区・準地区においても、議長、地区ガバナーによりコーディネーターが任命され、国際リーダーと連携を取りながら、複合地区、地区に対し、国際協会からの情報を伝達し、会員増強の達成を支援する役割を担っている。昨年十二月にはアフリカのチュニジアでミッション30中間会議が開かれ、また一月二十一日には東京で330～337複合地区のミッション30会議が開催された。一月のミッション30会議の後、上半期を終わっての状況と、目標達成に向けた今後の展望を、後藤、杉田両国際リーダーに伺った。

順調な滑り出しを見せた OSEAL地域

中田　今日の会議には伏見龍国際理事を始め、議長や地区ガバナー、複合地区、準地区のミッション30コーディネーターの皆さんが出席されました。東京が大雪に見舞われ交通機関に影響が出る中、欠席は四地区ほどでしたかね。非常に熱心に討議されていることに関心しました。

杉田　ここ数年、日本は会員数がかなり落ち込んでいますから、皆さん、問題意識をお持ちだと思うんです。担当の複合地区を回らせて頂いたり、あるいは連絡を取らせて頂く中で、それはひしひしと感じます。

中田　今、担当複合地区のお話が出ましたが、昨年、国際リーダーのお一人、多久良男元協議会議長が亡くなられました。その担当というのは、どうなるのでしょう。

後藤　昨年十二月に開かれたチュニジアの会議で、メータ国際会長から、私が引き継ぐよう指示を受けました。正式には、国際協会から文書でもって各複合地区、地区に連絡がいくことになります。

中田　そうしますと、330、332、333、334、335の各複合地区が後藤リーダー、331、336、337の三複合地区が杉田リーダーの担当ということですね。

杉田　後藤さんは、そのほかフィリピンとタイも担当されているので大変ですが、私もサポートしますので、残り半年、目標が達成出来るよう努力しましょう。

中田　おっしゃる通り残り半年となりました。そこでまず、上半期の状況について、チュニジアでの会議結果も踏まえ、お話し頂けますか。

後藤　まず世界の動向ですが、会議では十一月末の数字が報告され、会員数は一万千七百十人の減少となっていました。会則地域で言うと、日本を含む東洋・東南アジア以外はすべてマイナスです。東洋・東南アジアは全体で約四千人の純増なんですが、その内訳は台湾二千、日本千、韓国千という状況でした。

杉田　日本も今のペースで、各地区が会員増強に更に努力して頂き、目標会員数が達成されることを期待しております。

後藤　大きく減少しているのは北米、それからインド・南アジア・アフリカ・中東地域なんですが、北米に元気がないのに対し、インド・南アジアは国際会長のお膝元ということもあるのでしょうが、非常に前向きで、活力にあふれていました。

■会則地域別クラブ数・会員数増減

2005年12月31日現在　国際本部集計

	クラブ数	会員数
アメリカ及びその周辺	△67	△7,194
カナダ	△3	△759
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	△66	△2,633
ヨーロッパ	△3	△3,008
インド・南アジア・アフリカ・中東	△144	△3,544
東洋・東南アジア	△31	2,772
大洋州及びその周辺	△11	△435
合計	△325	△14,801

報われ始めた 会員維持の努力

中田　ただ日本の場合は十二月末であったり、あるいは六月末であったり、会費の関係もあるのでしょうが、半期ごとに会員数が減少してしまいますね。今日の会議でも、332複合地区の杉山正夫コーディネーターから、三月の時点で四％の純増を確保していないと、年度末の純増は難しい、という指摘がありました。

杉田　確かに毎年、六月末の退会者が多く、ここ数年は五月末まで何とか純増を保っていても、六月末でマイナスで終わるという傾向が続いています。ですから、もちろん六月末の退会者を減らしていくということも大事ですが、会員増強という意味ではここ一、二カ月が勝負になるかもしれません。

後藤　先ほどの中間会議の報告ではマイナスになっているのは事実なんですが、よく分析すると、退会者

数は減少しているように見受けられます。日本の場合も、ここ数年に比べ、会員維持は改善の兆しを見せているように思われます。

中田　それでは、先ほどまでの会議で報告が出ていましたが、日本の現状についてお聞かせください。

杉田　今日現在では、二〇〇五年十二月末の国際協会集計が出ていないため、地区集計を基にした報告ですが、ご報告頂いた中では333、334、337の各複合地区ですべての準地区が会員数でプラスになっていました。

後藤　若干、出遅れぎみの複合地区からは、今年度はCSFⅡが華々しくスタートした関係で、上半期はそちらにまず傾注していた地区もあった。しかし、地区ガバナーの意識が高いので、後期は巻き返しを図れるだろうとの意見もありました。

中田　エクステンションについてはいかがですか。

ライオン杉田貞治

杉田　新しいクラブを作るということは、準備その他に時間が必要です。国、県が進めている市町村合併が進行し、奉仕地域が従来とは変わってきているので、様子見の部分もあるようですが、下期のクラブ・エクステンションに期待しております。

後藤　三年前のインパクト・プログラムはエクステンションに特化していたわけですが、その時も、クラブ結成は年度の終わりにかけて成果が出てくる傾向がありました。ですから、まだこれからでしょう。

中田　335・B地区はこの三年間で二十七クラブが結成されました。私のゾーンでも二クラブが出来ましたが、結成式はいずれも年度末ぎりぎりでした。その辺りも含め、後期の展望という点はいかがでしょう。

ライオンズ躍進の鍵は女性会員増強にある

杉田　会員増強に関し、メータ国際会長が強調されているのは若い会員と、女性会員の増強です。日本の場合、特に女性会員の増強は、大きな可能性を秘めていると思います。

中田　335複合地区の寺田茂治コーディネーターが、会議の中で「若い会員の増強を図っているが、世相を反映しているのか、若い方にライオンズのような組織で自己研鑽を積むという意識が希薄になっている」と指摘されました。もちろんライオンズの側にも、若い方に魅力を感じてもらえるよう変わらなくてはいけない部分もあるでしょうが……。

後藤　チュニジアの会議での話なのですが、現在、世界の会員数のうち女性の占める割合は一七パーセントです。

ライオン後藤隆一

国または複合地区によっては五割を超えるところもあるそうです。

中田　日本は六パーセントで、最も比率が高いのが335・B地区の約一一パーセント、次いで335・A地区も一〇パーセントを超えていますが、ほかはすべて一割に満たないような状況ですね。

杉田　開発されていない分、チャンスでもあるわけです。今日も、330複合地区の秋山詔樹コーディネーターから、同様の発言が出ていました。

中田　複数の女性会員を同時に招請する。女性クラブの結成。ライオネスをクラブ支部にするなど、具体案も、いくつか出ていましたね。

ライオン中田勝昭

杉田　方法論は、たくさんあるはずです。例を挙げますと、337・D地区で川内ライオネス支部が一月二十八日に、女性だけの川内なでしこライオンズクラブが二月十一日にそれぞれ結成されます。結成に当たっては塩倉安伸地区コーディネーターのご指導が大であったことと思います。

中田　会議では配偶者の入会費返金について話題が出ていましたが、その件についてご説明願えますか。

後藤　二〇〇五年十二月一日から〇六年六月三十日までに入会した配偶者が対象となります。入会した配偶者名が月例会員報告書で報告された後、申請すればクラブ口座への入金記帳という方法によりクラブ会計計算書上で処理されるようです。

杉田　国際協会では配偶者だけでなく、元会員の入会に関しても同様のプログラムを設けていますので、ぜひ活用して頂きたいと思います。

■2005-06年度上半期（7-12月）地区別クラブ数・会員数増減

2005年12月31日現在　国際本部集計

複合地区	準地区	クラブ数 6.30	クラブ数 12.31	会員数 6.30	会員数 12.31	クラブ増減	会員増減
330	330-A	207	207	5,607	5,698	0	91
	330-B	192	194	5,876	5,954	2	78
	330-C	110	108	3,011	2,989	△2	△22
小計		509	509	14,494	14,641	0	147
331	331-A	78	77	2,929	2,907	△1	△22
	331-B	101	101	3,270	3,239	0	△31
	331-C	63	63	2,261	2,271	0	10
小計		242	241	8,460	8,417	△1	△43
332	332-A	68	68	2,217	2,196	0	△21
	332-B	57	57	1,937	1,936	0	△1
	332-C	84	83	1,913	1,898	△1	△15
	332-D	81	81	2,333	2,349	0	16
	332-E	56	56	2,080	2,073	0	△7
	332-F	57	57	1,701	1,665	0	△36
小計		403	402	12,181	12,117	△1	△64
333	333-A	80	79	2,997	3,030	△1	33
	333-B	140	138	4,430	4,406	△2	△24
	333-C	128	128	3,606	3,626	0	20
	333-D	55	55	2,143	2,196	0	53
小計		403	400	13,176	13,258	△3	82
334	334-A	117	117	6,079	6,113	0	34
	334-B	90	88	4,194	4,223	△2	29
	334-C	84	84	3,577	3,609	0	32
	334-D	98	98	4,435	4,480	0	45
	334-E	55	55	2,430	2,451	0	21
小計		444	442	20,715	20,876	△2	161
335	335-A	115	112	3,191	3,190	△3	△1
	335-B	203	203	7,480	7,435	0	△45
	335-C	123	123	4,873	4,901	0	28
	335-D	69	69	2,501	2,492	0	△9
小計		510	507	18,045	18,018	△3	△27
336	336-A	154	155	6,615	6,688	1	73
	336-B	102	102	4,069	4,047	0	△22
	336-C	106	105	4,230	4,240	△1	10
	336-D	110	109	4,073	4,038	△1	△35
小計		472	471	18,987	19,013	△1	26
337	337-A	120	118	5,162	5,200	△2	38
	337-B	93	92	3,128	3,148	△1	20
	337-C	82	82	3,271	3,305	0	34
	337-D	146	146	4,795	4,779	0	△16
小計		441	438	16,356	16,432	△3	76
合計		3,424	3,410	122,414	122,772	△14	358

「プラスワン」の目標達成に向けて

中田　最後に目指すべきゴールを伺いたいと思います。

後藤　ミッション30は「プラスワン」という分かりやすいキャッチの下、地区は年度末に一クラブ以上の純増、クラブは会員一人以上の純増と、非常に明快な目標が設定されています。「プラスワン地区」とは、クラブ数純増と、地区内過半数のクラブで会員数が純増することです。国内全三十三地区が、この「プラスワン地区」になることをベース目標に、地区ガバナー及びクラブ会長がリーダーシップを発揮し、目標をクリアされることを期待しています。

中田　それに関してですが、ここ数年、「インパクト」「ミッション30」と、会員増強に関するプログラムが打ち出されています。が、少しずつ異なる組織、形態になっています。今後も、この傾向が続くでしょうか。

後藤　その件について発言出来る立場にはありません。しかしながら、インパクト・プログラムの中でMERLチームが活性化し、今、非常にうまく機能している地区が増えています。ですから、ある意味、インパクトからの流れは、まだ続いているとも言えるのではないでしょうか。

中田　もう一つ、今日の会議でPRの必要性が提言されました。

杉田　331複合地区からのご提案ですが、日本のライオンズクラブ全体で、対外PRを考えてほしいということです。私も、確固たるイメージ戦略を持つことが、会員増強や、CSFⅡなどの資金集めの際にも有効に働くだろうと考えています。

中田　国際理事会でPR委員会に所属されている伏見国際理事も、仙台でのITフォーラムを始め、機会をとらえてはライオンズのPRについて話しておられます。この問題は今後、日本全体で考える時期にきているように思いますね。

もう一つ確認させて頂きますが、プラスワンの期限は六月末ですね。

杉田　そうです。地区大会のアワード申請は二、三月を基準にする場合が多いのですが、今年度の国際プログラムはあくまでも年度末です。

中田　各クラブも、それを頭に入れ、年度末にプラスワンになるよう努力して頂きたいと思います。三月には再度、ミッション30国際会議が開かれると聞いています。また、ご報告をお願いします。

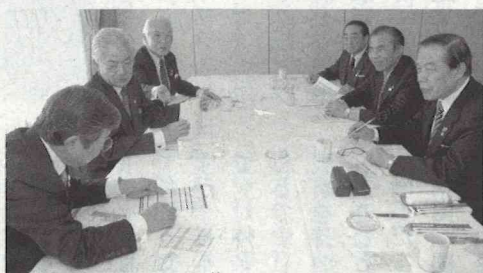
ライオンズ ニュースカセット

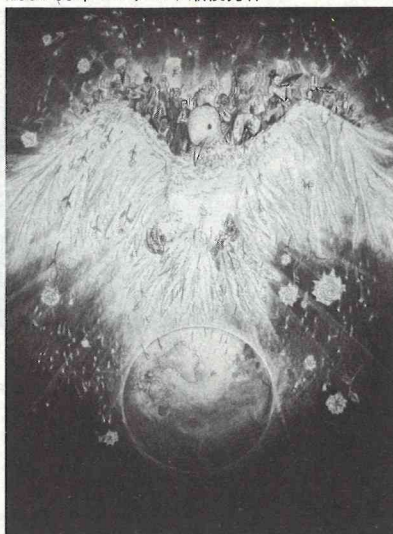
NEWS CASSETTE

●プラスワン地区を目指し、ミッション30会議開催

一月二十一日(土)、東京・丸の内のパレスビルで、ミッション30国際リーダーと全国のコーディネーターによる会議が開催された。会議には伏見龍国際理事を始め、後藤隆一、杉田貞治両ミッション30国際リーダー、議長、地区ガバナー、複合地区・準地区コーディネーターら約四十人が出席、各地区の現況、今後の活動方針などについて討議した。上半期の状況では、十二月末現在で333、334、337の各複合地区で所属するすべての準地区が純増を記録するなど、明るい兆しが見え始めていることが報告された。が、毎年六月に退会者が集中することから、下半期に向けては特に女性会員の招請を中心に更なる会員増強を図ると共に、会員維持、エクステンションにも力を注ぎ、クラブ数純増と地区内過半数クラブの会員数純増が条件となる「プラスワン地区」を目指して活動することが確認された。

●第十回CSFⅡ日本役員会議開催

一月三十日(月)、東京・丸の内のパレスホテルで第十回CSFⅡ日本役員会議が開催された。会議には福井正憲国際委員、秦三郎スペシャル・アドバイザー、杉本忠夫(V1)、山浦晟暉(V2)、栢森新司(V3)、渋田繁晴(V4)の各ナショナル・コーディネーターが出席。二〇〇五・〇六年度上半期の成果と問題点、下半期に向けての取り組み、次年度役員選任などについて協議した。当日、報告された資料によると、日本のCSFⅡモデルクラブは、追加申請により本誌二月号掲載記事から更に増え、最終的に六百八十二クラブとなった。これは日本全体のクラブ数の二〇パーセントに当たり、地区別では334・C地区がトップで六一パーセント、これに335・C地区五八パーセント、334・B地区五三パーセントが続く。また、上半期の日本の献金総額は約八億円で、三カ年での目標額の一三・一パーセントを達成したことが分かった。

平和ポスター・コンテストで日本から五人が優秀賞

「平和は国境を越えて」のテーマで行われた二〇〇四・〇五年国際平和ポスター・コンテストの最終審査が、一月十一日、アメリカ・イリノイ州シカゴの平和博物館で行われた。最優秀賞受賞者はブラジルのクレバーソン・ダシルバ・ロサ君（十三歳）。授賞式は三月十日にニューヨークの国連本部で開かれる国連ライオンズ・デーの中で行われ、本人と家族二人、スポンサー・クラブ会長が招待される。最終審査に残った二十三人の優秀賞には、日本から塩田慧君（330複合地区／スポンサー・クラブ＝埼玉県・越谷平成）、神成はるかさん（332／青森県・弘前東奥）、福井優人君（335／大阪福島）、宮田玲奈さん（336／高知北）、川満真琴さん（337／沖縄県・宮古）が選ばれた。この五人を含む各複合地区の最優秀作品は本誌二月号60～61ページに掲載。国際コンテスト最優秀作と優秀作二十三点は国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）に掲載されている。

2004-05年コンテスト最優秀作

335-B地区女性会員未来への集い

一月二十八日（土）、大阪・中の島のリーガロイヤルホテル大阪で335-B地区（大阪・和歌山／髙橋祥治ガバナー）の第三回女性会員未来への集いが開催され、地区内の女性会員を中心に四百五十人が参加した。第一部では日本初の女性ガバナーである櫻井慧子前330-C地区ガバナーによる講演と、女性会員二人による発表があった。ライオン内山節子（堺フェニックス）は欠席がちだった自分が積極的になった経緯とライオンズでの出会いの喜びを、ライオン西木直美（大阪いとはん）は事務局を設けずに取り組むクラブ運営とその成果を語った。続く第二部では、昨年七月から十二月までに入会した女性会員の合同入会式を開催。三十一人の新会員がろうそくを手に入場し「ライオンズの光」を朗読すると、髙橋地区ガバナーが「温かさと強さと優しさを兼ね備えた女性としての感性と、今まで培われた能力、技術を十分に発揮して、奉仕活動に打ち込んで頂くことを期待します」と歓迎の言葉を述べた。髙橋ガバナーはまた、ライオンズクラブの環境に慣れるためにはまず用語を正しく覚えて使ってほしいと述べ、記念品として『ライオンズスクール─初級編』（本誌発行）を贈った。335-B地区の女性会員は八百五十二人で全体の一一・四パーセント（昨年十二月末）。今期中に千人達成を目指している。

元会員、会員の配偶者を対象に入会費返金プログラム

昨年十一月の国際理事会で、元会員と会員の配偶者の入会費を返金するプログラムが採択された。二〇〇五年十二月から〇六年六月までに、既存クラブに入会した場合と、会員の配偶者が入会した場合は、入会費二十五ドルが払い戻される。申請書式は公式ウェブサイトでダウンロード可（トップページ→「その他のプログラム」→「会員プログラム」）。詳しい適用条件は、申請書式の記載を参照のこと。

NEWS CASSETTE

●LCIFのインド洋津波被災地復興事業

未曾有の大災害となったインド洋津波から一年余りが経った。被災地ではさまざまな困難を抱えながら、復興に向けた努力が進んでいる。LCIFは再建事業のために約千五百万ドルの資金を投じている。このうち三百万ドルはLCIF基金からの拠出で、約千二百万ドルはライオンズから寄せられた献金による。主な献金国と金額は以下の通り。

アメリカ＝二八〇万ドル、オーストラリア＝一三〇万ドル、スウェーデン＝一三〇万ドル、日本＝一二〇万ドル、105複合地区（イギリス諸島とアイルランド）＝七七万二〇〇〇ドル、スペイン＝七七万ドル、300複合地区（台湾）＝七四万九〇〇〇ドル、イタリア＝六四万七〇〇〇ドル、カナダ＝四七万七〇〇〇ドル、ベルギー＝四二万七〇〇〇ドル

LCIF Update

ライオンズによる 津波被災者のための再建事業

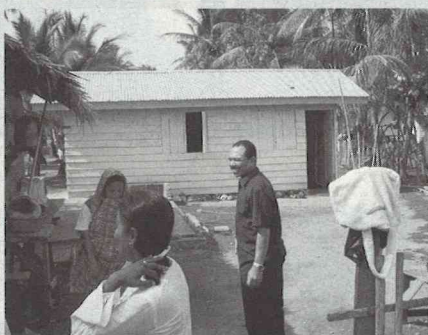
LCIFはインドネシア、オーストラリア、マレーシア、オランダ、スウェーデンのライオンズと手を組み、アチェ州トゥピン・クユンの被災者のために住宅245戸を建設。バユ郡ランチョッ村では地元ライオンズと住宅300戸を建てた。これは、LCIFが取り組む1,500万ドルの大規模な再建事業の一環である。

津波が、インドネシアの二十六歳の漁師ユスナエディの小さな村を襲い、二百八人の命を奪ったのは、彼が結婚したばかりの時だった。「三人の家族と共に、僕は突然、家を失いました。そして今また突然、家を手に入れました。神に感謝しています」。彼はそう言って、簡素だが頑丈な木造の家を示した。彼は、ライオンズとLCIFにも感謝している。LCIFはインドネシア、スリランカ、タイ、インドで、住宅や学校、孤児院を建設している。これらの事業を可能にしたのは、世界中のライオンズから寄せられた千二百万ドルの献金だ。例えば、オーストラリアからは百三十万ドルの献金が寄せられ、インドネシアのために利用するよう指定されていた。

LCIFと南アジアのライオンズによる再建事業は、大きく進展している。

◆

●インドネシア・アチェ州には二つのライオンズ・ビレッジを建設。今後はビレッジでの経済復興活動や、首都バンダ・アチェで被災者のための住宅建設を予定。スヌドン郡でも、学校一校と重要な地場産業である製塩小屋一軒の再建に力を貸している

●スリランカのライオンズは、数多くの建設プロジェクトの手始めに、百二十五万ドルを投じて五カ所に住宅三百十八戸の建設を進行中

●タイのライオンズは、二つの島にそれぞれライオンズ・ビレッジを設け、計百九十五戸の住宅を建設する。ランタ島にある最初のビレッジは四月末に完成予定

●インドでは324複合地区のライオンズが、百二十五万ドルで、住宅、地域復興センター、移動式浄水施設、一次医療センター、学校、孤児院の建設計画を進行中。資金の大部分は、最も大きな被害を受けた東海岸のチェンナイからナガパティナムまでの地区に向ける

◆

更に、多くの国のライオンズはLCIFへ献金するほかに、被災者を助ける南アジアのライオンズを、直接支援している。オーストラリアのライオンズは孤児院を援助。オランダのライオンズは独自に住宅用資金を提供し、病院建設も計画している。

イギリスでは、八つのクラブがスリランカのライオンズと協力して漁船六隻を購入。またレットフォード・ライオンズクラブは、インドネシアの村に学校を建設するために、約四万ドルの資金を集めた。ノルウェーのライオンズは、八〇年代にスリランカに建設した住宅が破壊されたのを知り、住宅五十戸を再建中だ。

SightFirst Update

仕事でも奉仕でも
失明との戦いに挑むライオン

二種類の人々が、エチオピアのテショーメ・ゲブレを河川失明症との戦いに駆り立てている。一つは、病に冒され、かゆみによってかきむしった肌がまだらに変色した人々である。既に失明した人もいる。彼らの元を訪ねた時、ゲブレはこの恐ろしい病気をくい止めようという決意を固めた。

二つ目のグループは、河川失明症を撃退するメクチザンという薬を服用した人々だ。彼らはもう、視力を失い、子どもたちや親類に面倒をかける心配をすることもない。ゲブレは彼らに出会い、自らが正しい道を進んでいるという確信を強めた。

ゲブレがライオンズに入会した時、LCIFはアフリカとラテン・アメリカの河川失明症とトラコーマを抑制するため、カーター・センターとの連携を既に始めていた。彼はエチオピアにおけるカーター・センターのヘルス・プログラムの監督を務めている。

「ライオンであることは私の誇りです。『ウィ・サーブ』をモットーとするライオンズに愛情を感じます」。そう話すゲブレは、アジスアベバ・コスモポリタン・ライオンズの副会長で、地区視力ファースト委員会の副委員長を務める。

ゲブレはライオンズとカーター・センターがもたらした成果をこう説明する。「私たちはエチオピアで四万五千件以上のトラコーマ手術を支援し、辺地に住む何百万もの人々に抗生物質による処置を行いました。また、二十万以上のトイレ建設も援助しています。これは大きな躍進です」。

ゲブレは更に続ける。「河川失明症が蔓延する地域では、過去四年間、処置の目標を拡大してきました。二〇〇四年には、地域で薬を配布する担当者三万人以上を養成し、危機的な状況にあった二百万人以上に処置を施しました。これもとても大きな成功です」。

エチオピア国内を旅する度に、失明に至る病気との戦いに勝利を収めるのはまだ先だと思い知らされる。ゲブレの戦いは続くだろう。「真のライオンは、常に成功を希求する人物です」と彼は言う。「真のライオンとして、無駄な努力はしたくはありません」。

最近、ゲブレはエチオピア南西部の小さな村に住む老人を訪ねた。彼は大家族の長で、家族が受けたメクチザンによる処置の結果に満足している。「猛烈な痛みは消え、眠れぬ夜から解放されました。平穏な眠りは食べ物や飲み物にも勝るものです。やっかいな虫たちが子どもたちからいなくなり、もうお腹の痛みもなくなりました」。この家長の言葉を、ゲブレはよく思い起こす。

「私の最大の喜びは、私たちが最も助けを必要としている人々に手を差し伸べていることです。この報酬以上にライオンズを幸せにしてくれるものが、ほかにあるでしょうか？」

次号四月号から本誌の誌面を刷新

ライオン誌日本語版委員会は、より親しまれる『ライオン』誌を目指し、四月号から本誌を刷新する。全ページをカラーにし、より読みやすく、文字を大きくする。

新結成／解散／クラブ名称変更

■新結成クラブ

高知県・土佐国府▼結成順位／三六一五▼十二月十四日結成▼坂本孝幸会長▼事務局／南国市明見九三三 ㈱ホリデイ・イン高知内（〒783-0007）TEL〇八八-八六三-二〇〇〇▼スポンサー／高知南

佐賀県・唐津キャッスル▼結成順位／三六一六▼十二月十七日結成▼堤松作会長▼事務局／唐津市大名小路一-五四 唐津商工会館五階（〒847-0012）TEL〇九五五-七三-六八四九▼スポンサー／唐津レインボー

■解散クラブ

兵庫県・宝塚平成／兵庫県・竹野／熊本県・鹿本

■クラブ名称変更

大阪上町桜→大阪US

会議録 1月

主な議題だけをまとめました

複合地区国際大会委員長連絡会議

第四回複合地区国際大会委員長連絡会議は一月十一日、パレスホテルで開催され、Ⅰ第八十九回国際大会①ボストン大会最新情報、②大会各行事、③日本ライオンズ代議員夕食会、④パレード・ユニフォーム頒布品、⑤ガバナー・エレクト・セミナー関連、Ⅱ第四十五回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムについて協議した。

Ⅰ①は各複合地区から大会参加予想数、代議員参加予想数、割当ホテルの部屋数を報告。一人でも多くの代議員を大会に派遣し、投票させる。

Ⅰ③は全体の運営は336複合地区が担当する。

Ⅰ④は九社が提示した中から四品を決定。注文は地区でまとめて四月十五日までに連絡事務所へ申し込む。

ライオン誌日本語版委員会

第七回ライオン誌日本語版委員会は一月十二日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①ライオン誌日本語版事務所上半期会計状況、②事務所改修、③一月号出来、④四月号以降誌面刷新案、⑤二月号以降台割と主要記事予定、⑥ライオン誌別冊、⑦国際協会公式ウェブサイト日本語版、⑧オンライン報告システムServannA、⑨その他について協議した。

③は四月号からフルカラーにし、四色の三分の一、四分の一サイズ広告も受け付ける。

⑤は今後、公式ウェブサイト内の記事を日本の会員向けに分類、使いやすいサイトマップを作成する。また、日本独自のページの充実も図る。

⑥は五月号別冊としてLCIFを特集。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第五回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は一月十七日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ議長協議①336複合地区からの議案、②第四十五回OSEALフォーラム、③CSFⅡからの依頼、④ミッション30コーディネーター会議、⑤日本赤十字からの献血協力依頼、⑥各種連絡会議、委員会報告、⑦その他について協議、Ⅱ国際理事と議長との懇談では①国際理事のあいさつ、②国際理事と議長の話し合いが行われた。

Ⅰ①は第五十二回年次大会記念誌に鳴本国際理事候補者の紹介文掲載の依頼。LCIFセミナー開催方法の見直し、ほか。

Ⅰ②は第一回ステアリング委員会の日程確認。

Ⅰ③は第五十二回年次大会でCSFⅡ関連の表彰をされたい。

訃報

亀山利彦（茨城県・水戸葵）
十二月二十九日死去、86歳。一九六五年チャーター・メンバー。八八年度333-B地区ガバナー。

吉田貢（静岡県・磐田）
十二月三十日死去、101歳。一九五八年チャーター・メンバー。一九八三年度334-C地区ガバナー、334複合地区ガバナー協議会議長。

高橋廣治（秋田県・大館）
一月二十五日死去、90歳。一九六四年入会。八九年度332-E地区ガバナー。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

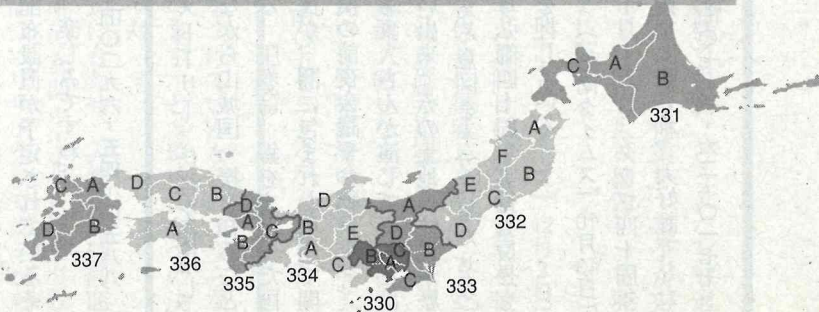
（2005年12月31日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2005.11.30.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　196	44,975	1,310,876	△11,710

日本のライオンズ

2005.12.31. 各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	207	△1	5,683	81
330-B	神奈川・山梨・東京	194	2	5,957	94
330-C	埼玉	108	0	2,989	2
330	計	509	1	14,629	177
331-A	北海道（道央）	77	0	2,911	△15
331-B	北海道（道北・道東）	101	0	3,234	△39
331-C	北海道（道南）	63	0	2,267	6
331	計	241	0	8,412	△48
332-A	青森	68	0	2,181	0
332-B	岩手	57	0	1,939	0
332-C	宮城	85	0	1,898	2
332-D	福島	81	0	2,349	16
332-E	山形	56	0	2,073	△8
332-F	秋田	57	0	1,667	△30
332	計	404	0	12,107	△20
333-A	新潟	79	△1	3,041	49
333-B	茨城・栃木	138	0	4,411	14
333-C	千葉	128	2	3,620	69
333-D	群馬	55	0	2,196	52
333	計	400	1	13,256	172
334-A	愛知	117	0	6,113	49
334-B	岐阜・三重	88	△1	4,227	40
334-C	静岡	84	0	3,615	48
334-D	富山・石川・福井	98	0	4,479	40
334-E	長野	55	0	2,457	23
334	計	442	△1	20,891	200
335-A	兵庫（東）	112	△3	3,200	△8
335-B	大阪・和歌山	203	0	7,448	△37
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,908	40
335-D	兵庫（西）	69	0	2,492	△9
335	計	507	△3	18,048	△14
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	2	6,725	96
336-B	鳥取・岡山	102	0	4,054	△27
336-C	広島	105	△1	4,247	19
336-D	島根・山口	110	0	4,038	△31
336	計	473	1	19,064	57
337-A	福岡・長崎	118	0	5,201	73
337-B	大分・宮崎	92	△1	3,130	7
337-C	佐賀・長崎	81	0	3,320	57
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	145	△1	4,787	30
337	計	436	△2	16,438	167
総計		3,412	△3	122,845	691
世界のライオンズの		7.6%		9.4%	

CLUB REPORT
クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は56ページをご覧ください。

茨城県・真壁ライオンズクラブ

町並み、パンジーで彩る

きれいな郷土を多くの観光客らに見てもらおうと、県立真壁高校と桜川市立桃山中学校の生徒たちが、十一月二十四日、蔵などが残る真壁町の古い町並みを色鮮やかなパンジーで彩った。

真壁ライオンズクラブ（松山佑次会長／32人）らの後援で、子どもたちに地域と協力し、自然を愛する心を育ててもらうのを目的に、真壁高校の生徒が中心となり今年六月から始めた「花の里作り事業」の一環。二十七日の国登録文化財公開や庭園コンサート、着物で町を歩くなど多彩なイベントに向けて行った。

参加した約百六十人の生徒らは、市真壁中央公民館から西に伸びる約五百メートルの通り沿いに白、紫、黄などのパンジーが植わったプランターを約千個並べた。「パンジー通り」を商店主らも歓迎し、「きれいになりましたね」と喜んでいた。

（『茨城新聞』11月27日）

（編）二月にはひな祭り用のプランターの配布設置が予定されているそうです。楽しみですね。

連絡先→TEL〇二九六－五四－〇五八八

京都府・綴喜ライオンズクラブ

『山城国一揆』ビデオ映画作成

綴喜ライオンズクラブ（藤林昌弘会長／47人）が、結成四十周年記念に製作していたビデオ映画『山城国一揆』が完成。乱暴狼藉を働く権力者から一致団結して山城を守った先人の姿が、現代の子どもたちの目を通して浮かび上がる作品は、洛南地方の小、中、高校などのほか、観光バス会社などにも配布する。

一四八五年（室町時代）から始まった山城の国一揆は、在地領主と民衆が団結して権力者と交渉、自治を勝ち取った事件として、歴史教科書などにも必ず掲載している。同クラブは「五百年前、自らの勇気と英知で時代を切り開いた先人がいたことを伝えたい」と、二年前から製作を検討してきた。

費用は約千五百万円。紫式部市民文学賞受賞者・東義久さんの『絵がたり　山城国一揆』を原作に、前田吾朗さんが脚本と監督を務めた。出演者は地元で応募した十一歳から六十九歳までの十八人。八月からの撮影は真夏の太陽との闘いだったが、関係者らが一致協力し乗り切った。

作品は、歴史を調べていた主人公の三人が尼僧と出会って、一揆の跡をゆくストーリー。CGを使用し、楽しみながら山城国一揆を知ることが出来る。圧巻は、鎧をまとった国人や農民が、闇に包まれた境内で開いた一揆の前夜会議や合戦シーン。「とても素人さんが演じているとは思えない出来。その土地の住民が歴史を伝える意図を十分に果たせた」と、牧草弘師四十周年実行委員長も太鼓判を押している。

（『洛南タイムス』10月13日）

（編）十月十五日、クラブ四十周年記念式典で上映され、大好評でした。

連絡先→TEL〇七七四－六二－〇一七七

岐阜県・中津川ライオンズクラブ

親子で大豆を収穫

昔の農機具を使って大豆の収穫を体験する催しが十一月二十日、中津川市坂本コミュニティーセンターであり、市内の小学生と保護者ら約百人が参加しました。中津川ライオンズクラブ（篠原敏夫会長／79人）が今年度、県家庭教育審議会の委託を受けて実施する家庭教育支援推進事業の一環で、大豆を収穫し豆腐を作る過程を通じて親子のきずなを深めるのと、食育がねらい。

大豆は会員が所有する市内の畑（約七百平方メートル）で栽培。この日は、乾燥させた大豆を木づちと二台の足踏み脱穀機で脱穀。とうみなどで選別して豆を集める作業を、親子が力を合わせて行い、大豆約四十キロを収穫出来ました。

（『けいほうホームニュース』12月3日）

（編）十二月四日にはこの大豆を使って豆腐作りに挑戦しました。さぞやおいしい豆腐が出来たでしょう。味噌や醤油、納豆など、大豆を使った伝統食にも興味が湧いたのでは？

連絡先→TEL〇五七三－六六－〇五三六

新潟県・燕ライオンズクラブ

燕環境ポスター表彰式

イラスト／篠田和夫

燕ライオンズクラブ（樋口優会長／38人）と燕市、燕市教育委員会は十二月七日、燕商工会議所三階会議室で平成十七年度環境保全啓発ポスター・コンクールの表彰式を行った。

コンクールは世界中で環境を守る取り組みが求められている中、啓発活動の一環として、昨年に続いて総合学習の中で環境について学ぶことの多い燕市内の小学四年生を対象に作品を募集した。その結果、燕市内八つの小学校から二百九十八点が寄せられた。これを真柄学校教育課長ら三人が審査した。

表彰式で樋口会長は「私たちの日常生活で環境ということが非常に重要視されてきている中、エアコンや乗用車の使用など、すべてが地球を汚していることになります。今の時代、地球が私たちに反省を求めているのかもしれません。ポスター作りを機会に、自分たちの周りの環境をまず守っていく運動につなげていくことを願っています」とあいさつして、一人ひとりに賞状と記念の盾を贈った。

最後に入賞児童を代表して、小中川小学校四年生谷地田和馬さんが、「ぼくは川や海を汚さないでほしいことを、みんなに伝えるためにポスターをつくりました。いつまでもきれいな地球であるように、一人ひとりが気をつけていかなければならないと思います」と、環境保全への決意を述べた。

表彰式に合わせ、入賞作品は同商工会議所の玄関ホールに展示された。作品は「リサイクルでゴミから地球を救おう」「中ノ口川にゴミをすてないで」「寝る前に主電源を切りましょう」「電気を大切に」などのタイトルを入れてあり、アピールする力のある作品が目立っていた。

（『三条新聞』12月8日）

（編）作品は燕郵便局ホールや市役所市民ホールなど、数カ所を巡回・展示されました。

連絡先→TEL〇二五六－六六－〇八八五

大阪中部ライオンズクラブ

史跡めぐりウォーキング

大阪中部ライオンズクラブ（阪本潤二会長／39人）は、豊臣大阪城が築かれて以来、大阪の発展の歴史の中で多くの史跡を持つ大阪西区をクラブ奉仕活動の地域としています。そのため、早くから地域の史跡顕彰に着目して数々の奉仕事業をしてまいりました。中でも西区役所との合同企画で市民を動員して実施している「西区史跡めぐりウォーキング」は今では地域の年間イベントの一つとして定着してまいりました。

当クラブが製作・発行した市民向けの「西区史跡マップ」には四つのウォーキング・コースがあります。これを毎年順番に一つずつ、平均三百人ほどの市民の応募者を選び、五班～六班に分かれて回ります。各班ごとの史跡のポイントでの解説や誘導もすべてクラブ会員が役割に従い実施します。史跡にまつわる解説の原文はもとより、コース途中での給水サービスなどすべてがクラブ会員による労力奉仕で、全員参加のアクティビティです。

今回は十一月二十日、江戸時代の朝鮮通信使にまつわる当地の史跡を始め、明治維新後初めて開港した大阪開港の跡、川口運上所跡（現・大阪税関富島出張所）など十カ所の史跡を市民の皆さんと一緒に歩き、爽やかな汗を流してまいりました。

参加された皆さんの我が町の史跡に対する関心も深く、中にはボーイスカウトのグループもいて、熱心に解説に耳を傾けてくれたのが印象に残りました。また最近は地域に大型マンションが急増しましたが、新しい住民にも大変喜ばれ、当地域の歴史への認識の高さを発見し、大きな意義を感じております。

（西区史跡顕彰委員長／竹田政廣）

（編）大阪中部ライオンズクラブは、インターネット上に「THEにしく史跡めぐり」も開設しています。ウォーキングには参加出来ない方も、気軽に訪れてみてください。

連絡先→TEL〇六－六四四三－五五一一

北海道・苫小牧ハスカップ・ライオンズクラブ

ウトナイ湖サンクチュアリ

日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリはこのほど、苫小牧ハスカップ・ライオンズクラブ（伊瀬秀春会長／43人）の全面協力でパンフレットを一新した。

A4判を三つ折りにしたハンディサイズ。表紙に同湖の航空写真を掲載。見開き部分には四季の見どころと併せ、ガン、ハクチョウ、シマリスといった動植物を写真入りで紹介。裏面には交通アクセスを載せた。

同クラブ側がレイアウトを行い、費用約二十四万円を負担。一万部印刷し、ネイチャーセンターで配布している。

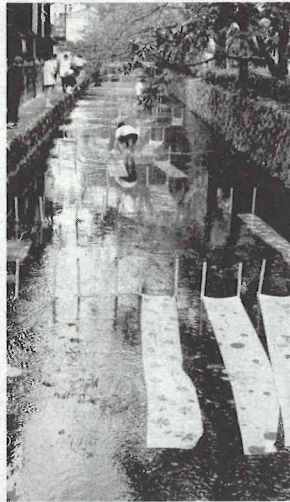
来年の開館二十五周年を控え老朽化が目立つ同センターの外壁補修を行うなど、同クラブの温かいボランティア支援に、サンクチュアリ側では感謝の気持ちを表している。

（『苫小牧民報』10月5日）

（編）同クラブでは、二〇〇〇年の観察小屋改築以来、継続的にサンクチュアリへの支援を行っています。

連絡先→TEL〇一四四－三三－二五二五

京都シニア・ライオンズクラブ

高瀬川を彩る友禅染

京都市の中心部・下京区では五つの中学校が統合し、平成十九年四月の開校に向けて現在、新校舎を建設中である。五校は明治の由緒ある校名を捨て、「下京中学校」の名の下に統合するが、五校の生徒たちは昨年四月からさまざまな交流活動を始め、京都シニア・ライオンズクラブ（阪上彰三郎会長／21人）では、その活動を全面的に支援することにしている。

今回、鴨川流域に近い二中学校と、三小学校が、交流事業の一つとして、京都の伝統産業である友禅染に挑戦することになり、当クラブでは、白生地や染色に使う糊筒などを提供、会員も活動に参加した。

夏休みに中学校の代表生徒が、京都精華大学テキスタイル・デザイン課で友禅染の基本を学習し、二学期が始まると中学の全校生徒が下絵を作り、糊付け、染め、洗いなどの作業を三㍍の白生地に二十時間かけて行った。京都シニア・ライオンズクラブのメンバーも、そのうち十回ほど参加して作品づくりに取り組んだ。技術を身に付けた中学生はその後、小学校に出向き、高学年の児童の作品づくりを指導した。

そして十月の中学校の文化祭には、校庭いっぱいに中学生、小学生を始め、ライオンズ会員の作品百十五点が展示された。

京の秋も深まった十一月九日、中学生やクラブ会員は、森鴎外の小説のタイトルとしても有名な高瀬川に入って、まず川掃除をし、それぞれの作品を浅瀬の流れに展示した。

かつて友禅流しは糊を流すための作業であったが、今は川を汚染する理由で中止されている。伝統技術体験や環境教育も含めた今回の取り組みの成果は一週間、高瀬川を彩った。

（第二副会長／大田垣義夫）

（編）友禅流しは一九七〇年ごろまで、京都の夏の風物詩でした。幻想的な美しい光景を懐かしむ人も多かったことでしょう。

連絡先→TEL〇七五－八四一－三一五〇

群馬県・前橋ライオンズクラブ

全米最優秀教師が講演

海外の教育関係者を招いた「県国際教育フォーラム」が、十二月四日、前橋ライオンズクラブ（下田憲六会長／78人）の主催により前橋県民会館で開かれ、全米最優秀教師に選ばれたジェイソン・カムラス氏（31歳）が基調講演を行った。

全米最優秀教師とは、アメリカ国内十四の教育機関の代表となる委員会が、各州の最優秀教師の中から選出する。

まず各州の最優秀教師が、それぞれの州全体の生徒、教師、校長、学区理事の指名の下に選出され、選ばれた代表は、全米州教育長協議会（CCSSO）に申請。CCSSOの全国選考委員会は各選出者のデータを検討し、最終選考の対象となる教師を選出する。

次に選考委員会は、最終選考に残った代表に個別に面談し、全米最優秀教師を決定する。表彰はホワイトハウスにおいてアメリカ大統領から直接授与され、一年間教育に関する国内外向けの常勤スポークスマンを務める。

カムラス氏は自身の取り組みを紹介しながら、教育機会の格差是正を「教師の使命」と位置付けて熱弁。来場した県内の教育関係者らに「地球上のすべての子どもたちに、夢を追求する機会を与えよう」と熱心に呼び掛けた。

（『上毛新聞』12月4日）

（編）フォーラムでは、フィンランド、中国、インド、日本の代表者によるパネル・ディスカッションも開催。教育について討議しました。

連絡先→TEL〇二七-二三四-一七一七

富山県・高岡古城ライオンズクラブ

例会1000回記念フォーラム

高岡古城ライオンズクラブ（矢留文雄会長／53人）の例会開催一千回を記念したフォーラム「温故創新～ひと、まち、文化、育て伝えるまちづくり」が十一月八日、高岡市のウイング・ウイング高岡であり、郷土愛についてさまざまな提案が出された。

基調講演では、富山大学の西頭徳三学長が「郷土愛からの発信」と題して「古いものの良さの本質を守り、新しいものを創（つく）ることが大事」と述べた。

また、同大に旧高岡短大を母体として創設された芸術文化学部について「金沢美大と交流し、地域社会に貢献する芸術家を育てたい」と展望を語った。

意見交換会では、石澤義文旧福岡町長、高岡市長職務執行者が「北陸新幹線と東海北陸自動車道で高岡市には将来性ありと判断し、福岡町合併を決めた。思いきった夢を持とう」と呼び掛けた。矢留会長は「バラバラに動いている行政と民間の取り組みを融和させる取り組みが必要」と提言した。

（『北陸中日新聞』11月9日）

（編）「温故知新」から一歩進んでの未来を創る「温故創新」を掲げての取り組みです。挑戦は始まったばかり。がんばってください。

連絡先→TEL〇七六六-二一-二一六六

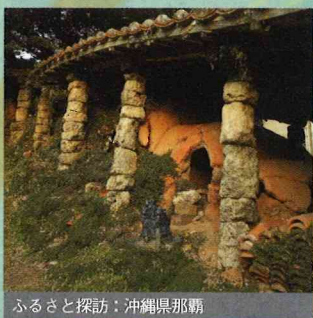
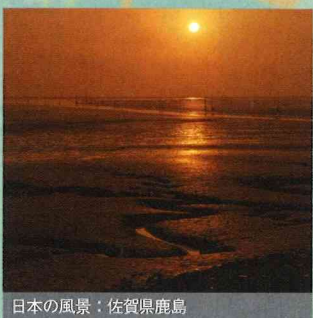
ヘッドライン：佐賀県神埼

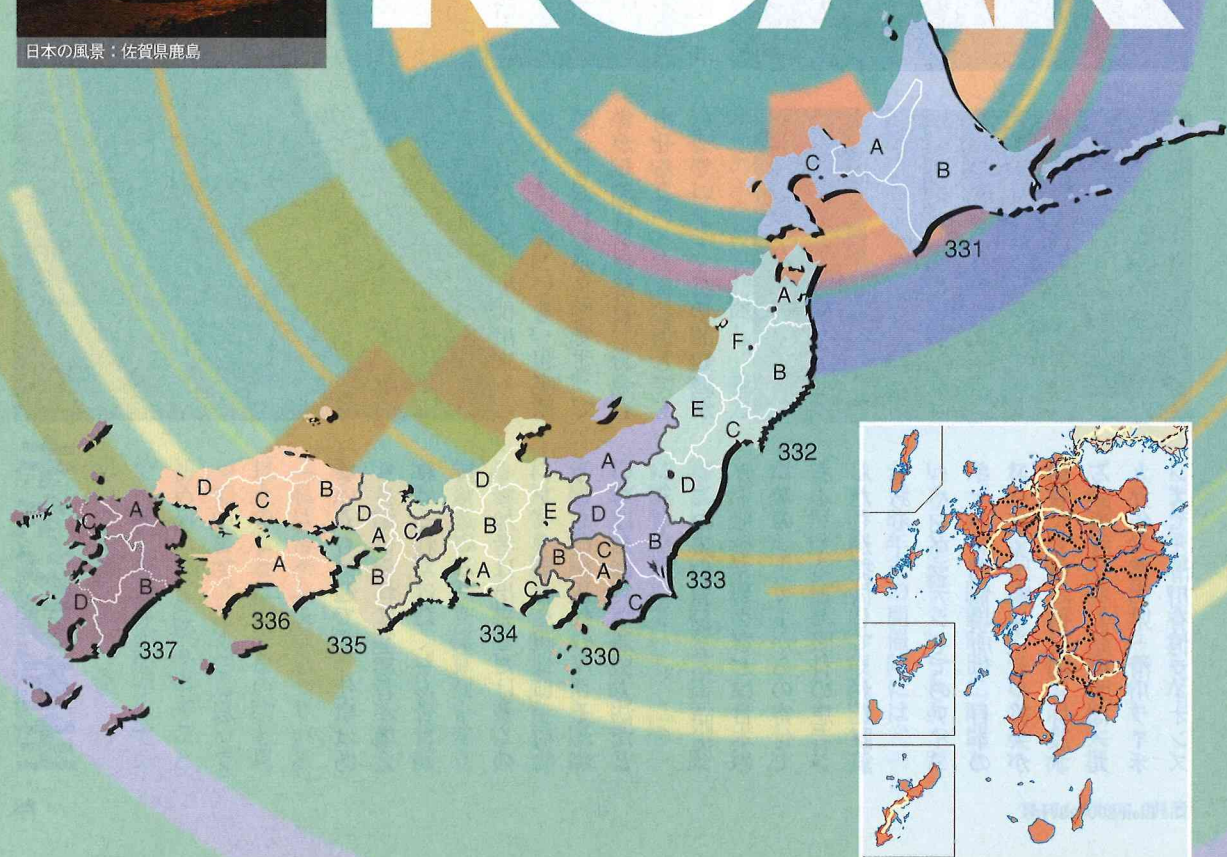
Headline ❶佐賀県神埼

Topics
❶福岡県飯塚竜王
❷大分県中津
❸宮崎マリーン
❹長崎県佐世保中央
❺熊本南
❻鹿児島第一

ふるさと探訪 沖縄県那覇

歴史の舞台 大分県竹田

日本の風景 佐賀県鹿島

ふるさと探訪：沖縄県那覇

日本の風景：佐賀県鹿島

ROAR

目が見える喜びを分かち合いたい。貧困国でのアイ・キャンプを主催する眼科医ライオン。

倉富彰秀（佐賀県・神埼ライオンズクラブ）
■取材／編集部

日本の約四分の一の国土に、一億四千万人の人々が暮らすバングラデシュ。世界で最も貧しい国の一つに数えられている。神埼ライオンズクラブ（石井久起会長／55人）の倉富彰秀（特定非営利法人POSA理事長）は、この国で毎年アイキャンプを実施、白内障手術を無償で行っている。ライオンズクラブやLCIFほか、多くのボランティアの協力を得て、これまでに十二回のキャンプで、千数百人もの人々の光を取り戻してきた。

日本最大級を誇る弥生時代の遺跡、佐賀県神埼郡・吉野ケ里遺跡のほど近くに、倉富が理事長を務める「くらとみ眼科医院」はある。この医院を開業した明くる年の一九九五年、倉富は研修医のころから思い描いていた貧しい人たちのためのアイ・キャンプを、インドで実現した。それから七年間、毎年十二月末にインドで約一週間のキャンプを実施。二〇〇〇年からは舞台をバングラデシュに移し、昨年末には通算十二回を数えた。

倉富が代表を務めるPOSAとは、「Project Operation Sight for All（すべての人々のための視覚手術計画）」のこと。「All that is not shared is lost（分かち合われない全てのものは失われる）」をモットーに、貧困ゆえに白内障の手術が受けられず、視力を失っている人々のために、最善の治療を最高の医療レベルで行うことを目的にアイ・キャンプを開催している。

患者さんを誘導する国際エンゼル協会孤児院の生徒

診察を待つ人々

キャンプには、医師や看護士を始めとする十人前後のボランティアが参加する。旅費の自己負担だけでなく、医師は十万円、それ以外の人は五万円の寄付をしての参加だ。

「労力だけなら提供出来るという人は多い。でも、現実問題としてお金が必要です。ですから趣旨を理解し、お金も出せるという人に参加してもらっています。医学的知識がない人も歓迎です。仕事はあります。それに参加者が増えればそれだけたくさん資材が持ち込める」

参加者は出来るだけ多くのレンズや機材を現地に手荷物として運び込むのだ。それがいちばん確実な運搬方法だという。

この眼内レンズや点眼液、ガーゼやマスクなどは日本のメーカーからの寄付である。くらとみ眼科の患者さんたちが提供してくれた眼鏡もある。

バングラデシュでのアイ・キャンプ開催場所は、日本のNPO・国際エンゼル協会が開設している孤児院に併設する診療所。この診療所は一九九九年、富山県・滑川ライオンズクラブと滑川有恒ライオンズ

クラブの合同支援で建てられたものだ。診療所には、神埼ライオンズクラブとバングラデシュのライオンズクラブが受けたLCIF国際援助交付金で購入した、顕微鏡や眼のカーブを計るオートレフ・ケラトメーターなどの医療機器が設置されている。

キャンプではだいたい一週間で約千人のスクリーニングが行われ、その中の一〇〜二〇パーセントに手術を施すことになる。治療が受けられないまま放置して、日本ではほとんど見ないほど重篤となった症例が多いという。

患者は術日を挟み三日間の入院となる。一日三食、簡単だが温かい食事が付く。それだけでも嬉しいらしい。洗顔のための石鹸と新しいタオルを支給すると、無くさないようにタオルを服や首に結び付ける。日本製のタオルは質が良く喜ばれる。

手術は濁った水晶体を取り除き、眼内レンズを挿入するというもの。日本では一般的だが、バングラデシュではまだ、水晶体の除去だけの手術が多い。当然ながら見え方は格段に違う。患者は、「家族の顔を」「神様が創造されたさまざまなものを」「コーランを」もう一度この目で見たい、と切望して遠路はるばるやってきた人々だ。再び視力を取り戻すと、心からの感謝を示し、喜びに満ちて帰っていく。ボランティアたちも「キャンプに参加してほんとうに良かったと感じられる時」と口々に語る。

アイ・キャンプではまた、現地の小学校を訪問し、視力検査やビタミンAの配給も行っている。この際、ビタミン剤を口に入れてやり、飲み込むまで見届ける。手渡しだとそのまま大事にしまい込んでしまう子がいるからだ。

バングラデシュでのキャンプも五年を経て、徐々に大型機材が設置され、仕事にも流れが出来て効率が良くなった。以前は睡眠時間二時間という日が続くこともあったが、昨年末の開催時には、一日八時間ほどの診療時間で必要なだけの仕事をこなすことが出来た。

活動が軌道に乗った今、ライオン倉富は次の目標を見据え、既に試算を進めている。二〇一〇年までに現地眼科医による年間三千眼以上の手術と眼病に対する教育啓蒙活動を行えるセンターを設置し、更に十年後までに独立採算制を確立するというもの。バングラデシュ国内に二十カ所以上をと考える。

「私は常々『人は思っている以上のことは出来ない』と思っています。たくさん思って初めの一歩を踏み出すことで、新たな世界が広がっていくのです」

■POSAのホームページもご覧ください（www2.saganet.ne.jp/posa/）。

バングラデシュの国際エンゼル協会の施設の前で。スタッフ、患者さんらも一緒に。前列中央の黒のジャケットがライオン倉富

病室では孤児院の生徒も患者さんのお世話を手伝う

手術室はガラス張りで中の様子を見ることが出来る

我が町の埋もれた偉業を発掘する。江戸時代に作られた「五ケ村用水路」を追跡。

福岡県・飯塚竜王ライオンズクラブ

■取材／編集部

飯塚市は、福岡県の北部中央。南東部から北へ抜けて遠賀川が流れる。鎖国をしていた江戸時代は、海外との唯一の窓口・長崎と小倉を結ぶ長崎街道の宿場町として繁栄。また近代は炭坑の街として日本の経済発展に大きく貢献した。

この多くの歴史的遺産を持つ飯塚にあって、あまり知られていない隠れた偉業を掘り起こし、市民と一緒に知見を広めようと、飯塚竜王ライオンズクラブ（浅田長年会長／61人）は二〇〇四年、「新しい飯塚を考える生活情報ネットワーク」をスタートさせた。最初のモチーフとなったのは「五ケ村用水路」である。

江戸末期の一八〇九年、天候不順と水不足により、飯塚は大飢饉に見舞われた。清水宅右衛門を始めとする五つの村の庄屋たちは、遠賀川から用水路を引くことを郡奉行に請願したが、飢饉の直後とあって郡も余裕がない。それでも諦めずにその必要性を訴え、二十六年後にようやく着工、三年間に及ぶ難工事の末、七・五キロの用水路を完成させたものである。水路は一九六三年に炭坑による地盤沈下のために使用出来なくなるまで、人々の生活を支えてきた。この偉業と不屈の意志、そして郷土愛を後世まで伝えよう。飯塚竜王ライオンズクラブは、今や三分の一しか現存していない五ケ村用水路の全貌を明らかにすることにした。

文献や古地図を参考に歩き、近隣住民に水路の記憶を聞いて回ること約一年。市歴史資料館を始めたくさんの人の協力を得た。ある旧家のご主人は、歴史的な建造物である自宅の中まで見せてくれた。コミュニケーションが広がっていった。

ある時「ライオンズが五ケ村用水路について調査していると聞いたが、ぜひ総合的学習の時間に生徒に講義をしてほしい」と、小学校の先生から申し出があった。そこで、生徒たちと一緒に七・五キロを歩くことにした。今も水路として使われている所、枯れている所、ドブのように悪臭を放つ所を見、そして埋もれた水路を想像しながらその上を通る道を歩いた。水路は小学校の校庭もトンネルで横切っていた。かの旧家の中も見学させてもらうことが出来た。

生徒たちは目を輝かせ興味津々。夏休みの自由研究として自分で歩き、調査を進めた子もいたほどだ。

「直接だれかに何かをしてあげる奉仕とは違いますが、自分たちの街を知り、もっと好きになる材料を提供する。子どもたちや市民の意識改革という地域貢献・社会奉仕です。そして五ケ村水路はその第一弾」と浅田会長。

そう、実は「新しい飯塚を考える生活情報ネットワーク」は遠大な計画である。「古い資料の情報収集と整理」に今回の水路を含む七項目、「新しい資料の……」に風水害危険個所、飯塚有名人など六項目が既に上がっている。

調査結果の発表方法も重要になる。今回は、CDに収めた記録を市や歴史資料館に寄贈しただけでなく、小学生と水路を歩くという絶好のチャンスが舞い込んだ。次回も事業を見せるかもしれない。楽しみにしていよう。

Topics トピックス2

介護教室で介護する技と介護を受けない術を学ぶ。

大分県・中津ライオンズクラブ

■取材／編集部

大分県の西北端に位置し、福沢諭吉の郷里として知られる中津市。ここに年間二千人が見学に訪れる介護保険総合ケアセンター「いずみの園」がある。運営している特別養護老人ホームは、入居者を小グループに分けて家庭的な介護を行う「ユニットケア」で脚光を浴びている。

中津ライオンズクラブ（冨永健司会長／59人）と中津ライオネスクラブ（小倉佳子会長／57人）は毎年、同センターで暮らすお年寄りたちに芝居やダンスを披露するなどして交流を続けてきた。両クラブは、高齢者福祉への理解を一層深めようと十二月二十四日、センターで行われた介護教室に参加、中津ライオンズクラブ所属の長野耕作337・B地区ガバナーを始めメンバー二十七人が、介護の現状や介護実技を学んだ。

まず、センターの施設長でもある冨永会長の案内で、特別養護老人ホームと全国で二例目という一戸建て老人ホームを見学。後者は、「最期まで自分らしく」というシニアのためのもので、玄関から浴室に至るまで完全なバリアフリー仕様である。メンバーたちは感心しきりで、「先々安心しました」と若手のライオン芥川哲也。

介護実技では特養事業部長の岩崎深雪さんが、寝たきりのお年寄りの起き上がらせ方や、体の向きの変え方をレクチャーした。メンバーたちは二人一組になって、ベッドにあお向けに寝た相手を横向きにしようとするが、重くてうまくいかない。岩崎さんがコツを伝授すると、恰幅のよい長野ガバナーもコロリ。和気あいあいとした雰囲気の中、メンバーたちは介護の基本を身に付けた。「介護の仕事は楽しいねえ」と中崎訓男前会長。

最後に理学療法士の久恒健さんが、介護予防のストレッチ体操を指導した。体を柔らかくすることが、寝たきりの原因となる転倒を防ぐという。メンバーたちはタオルを使って、そろって体を動かしていた。

ライオネスの小倉会長は「介護の仕方を知っていれば、介護される側になっても、介護する人が楽な姿勢がとれるのでは。クラブの仲間たちとここで最後の生活するのもいいかなと思った」と話す。

また、ライオンズの冨永会長は「老人ホームが暗く閉ざされた社会でないことを分かってくれたのでは」と語る。

個人的にボランティアとしてセンターを訪れるメンバーも増えているという。この介護教室で学んだことが、新たな奉仕活動につながることを期待したい。

肢体不自由児施設で買い物訓練延べ180回。

宮崎マリーン・ライオンズクラブ

■取材／編集部

宮崎市街から、道沿いにヤシの木が植わる国道を車で約三十分。肢体不自由児施設「県立こども療育センター」は、のどかな田園地帯にある。

同センターには、脳性まひや関節の病気などで、手足をうまく動かせない障害児三十九人が入所、治療やリハビリを受けながら自立に必要な知識や技能を身に付ける。そのほとんどが車いすの生活を送っている。

出歩く機会の少ない同センターの子どもたちに、買い物を体験してもらおうと、宮崎マリーン・ライオンズクラブ（田川瑞子会長／5人）は、センター内に模擬店を出して、「お買い物訓練」を行っている。九州初の女性クラブとして一九八八年の結成以来続けているアクティビティで、百八十回を数える。

訓練では、メンバーが店員になってパンやおもちゃ、文具などを売る。子どもたちには十円玉二十枚の入った財布が渡され、二十円、五十円と値付けされた商品を買う。商品は、メンバーが問屋を回って安く仕入れたものだ。カロリーや塩分に制限のある子のために、栄養士のボランティアたちが特別に作ったゼリーなども並ぶ。二万円の予算で計二百五十点ほどの品物をそろえるのは大変だ。ちなみに、男の子にはアイドルのブロマイド、女の子にはおもちゃの指輪や髪飾りが売れ筋という。

この訓練は、子どもたちにとって最も楽しみな行事の一つだ。同センター職員の國武房子さんは「『今月は園内売店（お買い物訓練）があります』と発表すると、子どもたちは『うわぁー』と歓声を上げて、ものすごく喜ぶんです。当日の二、三日前から、『園内売店やね』『園内売店やね』と言い合って、楽しみにしています」と話す。

当日は開店前から、子どもたちが集まり「今日は何を持ってきたの？」と待ちきれない様子。開店後、まずは品定めにおおいに悩む。支払いも自分でする。まひで手の自由の利かない子がお金を払おうと、十円玉を一枚ずつつまみ、ゆっくりと腕を伸ばしてくる。店員役のメンバーたちは、それをじっと見守る。その眼差しは、母親の我が子に対するそれだ。実に女性クラブらしいアクティビティである。

田川会長は「喜んだ顔なんて、普通の人には出来ないような、いい顔をするのよ」とほおを緩める。また、忙しい仕事の合間を縫って参加しているライオン安部八代子は「（ゆったりとしたペースの）子どもたちと接するとすーっと気持ちよくなる」と言う。

同クラブは不況で会員数が大幅に減少、訓練の回数も毎月から隔月に減らしたが、「毎回毎回感動がある。このアクティビティだけは何としても続けていきたい」（田川会長）としている。

ライオンが引く馬にまたがって。療養効果も期待される乗馬体験アクティビティ。

長崎県・佐世保中央ライオンズクラブ

■情報／西田厚志（社会福祉委員会副委員長）

「アニマル・セラピー」。犬や猫などのペットを飼うことで穏やかな気持ちになるとか、イルカと一緒に泳いで癒されるとか、最近よく耳にするようになった言葉だが、意外にもその歴史は古い。特に「乗馬療法」の歴史は、古代ローマ帝国の時代までさかのぼり、戦争で傷ついた兵士のリハビリに用いられていたという。現在では乗馬療法は完成された治療システムとして、日本を始め世界各地で活用されている。

佐世保中央ライオンズクラブ（野口春雄会長／56人）は知的障害児通園移設「すぎのこ園」と県立野崎養護学校で、それぞれ毎年一回ずつ、計年二回の乗馬体験アクティビティを行っている。スタートしたのは二〇〇〇年。すぎのこ園の先生や親御さんの、「子どもたちに乗馬療法を体験させたい」という希望を実現するためだった。

初回は佐世保馬事公苑で実施したが、園からの移動が思いのほか大変だったことから、第二回からは馬主さんから子どもに慣れた馬を借り、校庭で行うことにした。

当日朝、牝馬のバナナちゃんが専用トラックに揺られてやって来る。人間に換算すると、御年七十歳。けっこうなご高齢ではある。一人で背中に座っていられない子はお母さんとの二人乗り。手綱を引かれ、左右には子どもを見守るライオンを携えて、バナナちゃんは庭をゆっくりと歩く。Yちゃんは背中に乗ってご満悦。Tくんは馬に揺られてなんだか気持ちよくなって眠ってしまった。乗馬体験が楽しみで、前日の夜眠れなかったからか。

乗馬療法には、馬の背にまたがってバランスを取ったり、振動が神経を刺激するという身体的なリハビリだけでなく、動物と触れ合うことで感情が豊かになることも期待されている。実際、親御さんからは「これまであまり表情を見せなかったのに、嬉しそうに笑っている」「この子の障害の具合では馬にまたがるのは無理だろうと思っていたが、足を開いてまたがって座ることが出来た」など嬉しい驚きと感謝が寄せられている。

西田厚志社会福祉副委員長は言う。

「私たちメンバーも、障害のある子たちが去年よりも上手に馬に乗れるようになっていたり、楽しそうに馬と触れ合っているのを見ると、心から嬉しい。また、親御さんたちの心の支えにもなっているようです。単なる金銭を贈るだけのアクティビティにはないやりがいが感じられる。出来るだけ長く続けていきたい事業です」

稲作体験とチャリティー餅つきで、養護施設にも留学生にも喜ばれるアクティビティ。

熊本南ライオンズクラブ

■取材／編集部

熊本南ライオンズクラブ（田上義則会長／34人）のチャリティーバザー餅つき即売会は、二十年も前から続く師走の恒例行事。毎回、会員夫人で結成している熊本南ライオネスクラブ、加須美レオクラブも協力に駆け付ける。養護施設の子どもたちと共に田植えと収穫をした餅米で、メンバーが餅つきをして販売。収益は留学生ふるさと民謡教室の資金に充てる。これは日本の良さを知ってもらおうと熊本大学留学生と家族を対象にしたアクティビティで、月一回の教室に十人あまりが参加し、春と秋には大会にも出場する。つきたての餅は市民に喜ばれるし、田上会長いわく「この事業の継続によってクラブは固く結束している」し、実りいっぱいのアクティビティだ。

餅米は田上会長が提供する水田で育てる。田植えと収穫には、菊水学園から小、中学生約三十人が参加。「子どもたちは『田植えはいつ？』『稲刈りにはいつ行くと？』と楽しみにしています」と松本純子先生。初めは虫などを怖がって田んぼに入るのを嫌がった子も、やがて膝まで泥に浸かって田植えに熱中する。田植え後は田上会長が面倒を見て、秋にはずっしりと頭を垂れた稲の刈り入れ。子どもたちは収穫の喜びを味わい、ライオンたちは子どもたちの成長を見守り、喜びを分かち合う。みんなのお楽しみは、ライオネスが作るお昼ごはん。いつもは野菜ぎらいの子も、おいしそうに頬張るのだという。収穫した餅米は一部を学園に贈り、残りは餅つき用になる。

昨年の餅つき即売会は、十二月四日（日）に開催した。この日は強い寒波が九州まで押し寄せ、時折冷たい雨が降り、会場の阪急百貨店の店頭はいつもより人影まばら。それでも三俵分の餅米を次々に蒸し、午前十時に販売を始めると、予定より一時間早く午後三時に完売した。

メンバーは「ヨイショッ、ヨイショッ」と小気味よいリズムで餅をつき、それをライオネスとレオの会員たちが手際よく丸餅にしてパック詰め。菊水学園の松本先生と子どもたちも売り子役を買って出た。この見事なチームワークがクラブの原動力となっている。

さてこの餅つき、年を重ねるごとに少々キツくなってきたと聞いた。今年度は若い新人が二人加わって一安心。のはずだったが、餅つき経験のない二人は早々に退散。それを尻目に、六十代も後半のベテランたちが年季の入った杵さばきを見せていた。餅つきの後継者育成にもがんばってください！

Topics トピックス6

「自分を大切に」。エイズ講演会で高校生に贈るメッセージ。

鹿児島第一ライオンズクラブ

■取材／編集部

二〇〇五年十月末現在の日本国内のHIV感染者は七千百四十三人、エイズ患者は三千五百三十四人を数える（厚生労働省発表）。感染に気づいていない人も多く、実際の感染者は二万人程度と言われる。世界的に見れば少ない数字だが、先進国の中で、新規感染者が年々増え続けているのはロシアと日本だけ。厚生労働省エイズ動向委員会による「二〇〇四年エイズ発生動向」では、一年間で新たに千百六十五件の感染者と患者が報告された。拡大は性的接触によるものが中心で、「特に若年層への重点的な啓発普及が必要」と警鐘を鳴らす。

鹿児島第一ライオンズクラブ（西村重行会長／49人）は一九九三年からエイズ啓蒙に取り組み、市内の高校でエイズ講演会を主催している。講師は産婦人科医で性教育やエイズに関する著作や講演で活躍する、家族計画協会クリニックの北村邦夫所長だ。

九三年、産婦人科医のライオン昇眞寿夫は日本産婦人科医会性教育指導セミナーの全国大会で、北村先生の講演を聞いた。分かりやすくて面白い。こんな講演なら若者が耳を傾けるはず。ライオン昇は早速、クラブに提案し、市民を対象にした講演会が実現した。当時は薬害エイズ問題で一般の関心が高く、定員八百人の会場に千人が集まる大盛況。しかし、翌年、翌々年は関心の低下を示すように聴衆が減り、事業の再検討を迫られた。

そんなころ、別の講演会で鹿児島を訪れた北村先生に面会したライオン昇は、思わぬ話を聞かされた。

その日、講演を終えて控え室へ戻ると、鹿児島商業高校の生徒会メンバーが待っていた。前年にライオンズクラブ主催の講演会を聞いたと言う。「卒業前に自分たちの仲間にも先生の話を聞かせたい。講演料はいくら用意すればいいのでしょうか……」。北村先生は「鹿児島第一ライオンズクラブというのがあるから、相談してみなさい」と伝えていた。

この話を聞いたクラブは、高校での講演会開催を決定。県教育委員会の補助金を受けて年一回、二校ずつで開いてきた。二年前からは教育委員会でも北村先生の講演会を主催することになり、現在は一校ずつの開催にしている。それだけ、評価が高かったと言えるだろう。

講演会は全校生徒を対象に行われる。北村先生は演台を降りて生徒たちにもマイクを向けながら、ざっくばらんな口調で話しかける。大人がドキッとするようなきわどい話もあり、教師の中には「寝た子を起こすのでは……」と危惧の声が出ることもある。

「子どもたちは、みんな起きてますよ」とライオン昇。「インターネットなどによる情報の氾濫に、増殖する性産業。子どもたちを取り巻く環境は激変している。従来の価値観、倫理観が通用しない。それを大人が分かっていない」。ライオン昇は診療を通じて強い危機感を抱いている。病院では性感染症の検査に訪れる若者が増加。「自分には関係ないと思っていた」「誰も教えてくれなかった」というのが彼らの現状だ。北村先生のメッセージは「自分を大切にしなさい」。その言葉が、生徒たちの胸に届くよう願う。

沖縄県・那覇
沖縄情緒あふれる石畳の小径は、焼き物文化のクロスロード

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

近隣諸国の焼き物文化が融合

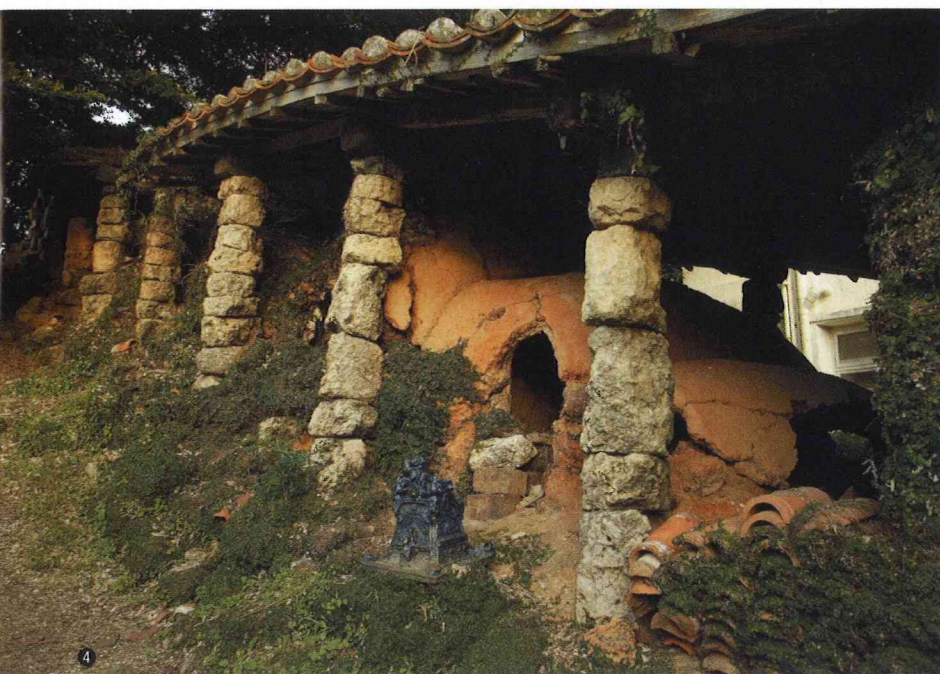
観光客や那覇市民で賑わう平和通商店街を抜けると、石畳が続く小径に出る。小径は「壺屋やちむん通り」と言い、陶芸品を並べる店や小さなギャラリーが軒を連ねている。「やちむん」とは沖縄の方言で「やきもの」のことで、この壺屋やちむん通りこそ「壺屋焼」発祥の地である。

壺屋焼の特徴は、力強さの中にある温かみあふれた素朴さにある。主に上焼（じょうやち）と荒焼（あらやち）の二種類に大別される。赤土に白化粧をして釉薬をかけて焼いたものが上焼で、花瓶や食器、置物といった日用品が作られる。一方、釉薬をかけないで焼いたものが荒焼。土の温かみが感じられ、主に味噌壺・酒壺・水瓶・厨子など大物が多い。

壺屋焼の歴史を振り返るには、沖縄を代表する酒「泡盛」の歴史に触れなければならない。沖縄が琉球王府と呼ばれていた十五世紀初頭、当時盛んだった南方貿易でシャム（現在のタイ国）からラオロンと呼ばれる酒が入って来る。タイ米を原料としたこの蒸留酒が泡盛のルーツと言われていて、この時、酒を入れる器や器を作る技術も一緒に伝えられた。これが壺屋焼の原型であるという。また、琉球は東アジアにおける交易の中継地点であったため中国や朝鮮とも交流があり、大陸ルートからも焼き物の技術が伝わった。

十七世紀の初め、琉球王府が薩摩藩に従属することにな

（右ページ）壺に描かれた模様は、沖縄の動植物など自然をモチーフにしたものが多い
❶沖縄の民家の屋根や門柱に、コマ犬のように鎮座しているシーサー
❷壺屋の町中では、よく焼き物が置かれている光景を目にする
❸壺屋やちむん通りで見つけた焼物で出来た案内板

ると、琉球の海外交易は制約を受け、あらゆるものを自給自足しなければならなくなった。日用雑器などもその一つで、製陶技術をより高めて生産性を上げるため薩摩藩から陶工を招いた。こうして琉球では、さまざまな国の影響を受けた焼き物が融合し、独自の進化を遂げていくことになる。壺屋焼の型や図柄、色彩、釉薬に多様性があるのは、こうした背景があるからと考えられている。そして、一六八二年、琉球王府は産業振興策を打ち出し、各地に分散していた窯場を壺屋に統合。ここから壺屋焼が始まった。

❹新垣家住宅の登り窯。屋根を支える柱が石積みなのは熱によるヒビが入りにくくするため ❺沖縄特有の赤土。いい土はなめると甘い味がするという ❻器を薄く削る作業は、職人の腕の見せ所 ❼重要文化財に指定されている新垣家住宅

今は火の消えた登り窯

壺屋焼物博物館友の会の与儀達憲会長の案内で壺屋の街を歩いてみた。この会は、壺屋やちむん通りの一角にある那覇市立壺屋焼物博物館を盛り上げようと、地元有志が集まって発足させたもの。

石畳のあるメーンストリートから脇道に入り、車も通れないような入り組んだ細い路地に足を踏み入れると、草が生い茂る古びた石塀や赤瓦の屋根が密集する昔ながらの町並みがあった。至る所にさまざまな表情をしたシーサーがいて、遠くの空を見つめていた。壺屋の路地裏には、沖縄の原風景を思わせる景色が広がっている。

一帯は、戦争の被害を奇跡的に免れた場所である。また、戦後、港のある旧市街地は米軍に摂取され、そこに住んでいた人たちは当時郊外だった壺屋に強制的に移住させられた。疎開から帰ってきた人たちもこの場所に住み着き、壺屋は大いに発展。食器など日用雑器の需要が増え、戦争で生産が下火になっていた壺屋焼が再び栄えることとなった。

南窯（ふぇーぬかま）と東窯（あがりぬかま）の二つの窯を中心に壺屋焼は発展していく。与儀会長が東窯のある新垣家住宅を案内してくれた。新垣家住宅は、十八世紀後半に建てられた母屋や作業所など伝統的な壺屋陶工の住宅形式を残す唯一の建物で、国の重要文化財に指定されている。南窯が荒焼専門の窯だったのに対し、こちらの東窯は上焼き専用として主に生活用品が焼かれた。

「ここの窯は登り窯と言って、斜面を利用して作られたもので、窯の中の火が次々と上へと移っていく構造になっています。大量の薪を燃やし黒煙が出るため、現在は市街地で登り窯の使用は出来なくなりました」

後日、那覇市から北へ二十八キロ先にある読谷村（よみた

んそん）を訪れた際、陶芸家に登り窯について話を伺う機会があった。一九七〇年代に壺屋から多くの窯元が移転していった読谷村には、壺屋で使われていたのと同じ作りの登り窯が再現され、現在も稼働している。

小さな窯が連なる斜面の角度は約十八度。この角度が緩いと火が窯の中にたまって、上まで行かない。反対に、角度が急だと火がずっと底にとどまっている状態になるという。

通常、登り窯は共同で使い、年に四回ほど稼働させる。使う前に薪に火を付け、登り窯の中の湿気を飛ばして一週間後にようやく焼きが始まる。登り窯は仕上がりが安定するので使いやすい上、ガス窯などではなかなか出来ない表現が可能なのだそうだ。

壺屋では、十数年前から登り窯は使用されておらず、現在も壺屋で作陶を続ける二十二軒の窯元は、それぞれ電気やガス、灯油窯で作品を焼いている。

⑧シーサーは作る人の顔に似ると言われるが……
⑨お尻が力強く上がっている迫力満点のシーサー。「シーサーも女もお尻が命」とは、ある陶工の名言

作陶は土との格闘から

窯元をいくつか訪れた。仕様や窯元によって焼きの回数は異なるが、数回焼いて独特の色の具合を出すのが、一般的だ。例えば、上焼きの湯飲みの場合、ろくろなどで成形した器を十分に乾燥させた後、五時間焼いて三日目に窯から出し、更に釉薬を塗って十時間焼いて四日目に出す。最後はべんがらなどで色付けして、五時間焼いて三日目に窯から出し、ようやく完成となる。何度か焼くために、途中で壊れてしまうことも多い。と言うのも、沖縄特有の赤土は粘り気がないので、もともと作陶に恵まれた土ではない。本土の土なら絶対割れない条件でも、沖縄の土では割れてしまうことがある。これを避けるために本土の土を少量混ぜるのだが、その割合は窯元でそれぞれ違う。

「作品が大きくなるほど、沖縄の土は不利になります。八十センチほどのシーサーを十体作っても、八割はひび割れ覚悟です。難しいですが、この土を使うことが壺屋のアイデンティティーだと思っています」とは、京都で陶芸の修行をした後、壺屋に戻ってきたある若手陶工の言葉。

丈夫で見た目もきれいな陶器が島外から大量に入り込んできて、壺屋焼は一時は衰退していた。が、最近になって見直されてきたのも、伝統と向き合い試行錯誤する、こうした若者たちの存在が少なからず影響している。

クラブ紹介

沖縄ライオンズクラブ（上原豊充会長／45人）は、本土復帰前の一九六五年、大阪サウス・ライオンズクラブのスポンサーで結成された県内で最も伝統があるクラブです。

奉仕エリアは、戦後の焼け野原から見事に立ち直ったことから「奇跡の一マイル」と呼ばれる国際通りを中心に発展した那覇市の全域。南国特有の熱気に満ちた土地柄です。

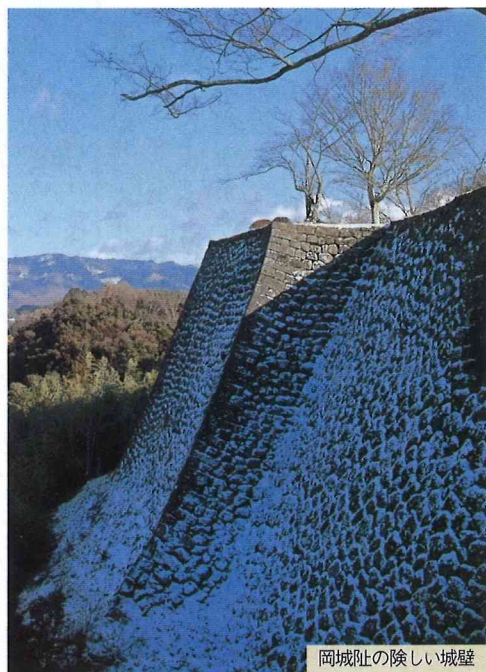
主に献血や戦跡地の清掃など地域社会に密着したアクティビティを展開しています。また、青少年育成にも力を入れており、レオクラブの活動指導のほか、マレーシアとの間で青少年交換（YE）事業を毎年実施しています。ライオンズクラブ間の交流も盛んで、福岡ライオンズクラブと熊本第一ライオンズクラブと姉妹提携を結んでおり、交流事業を行っています。札幌もいわライオンズクラブとは友好クラブの関係を結び、「南北交流」の実績を作り上げています。

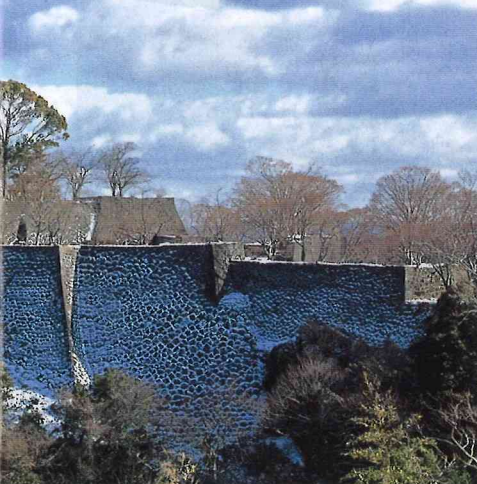
■沖縄ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（65ページ）

大分県竹田市
「荒城の月」を生んだ九州の小京都

■切画：風祭竜二／取材：編集部

大分からJR豊肥線のワンマンカーで一時間。豊後竹田（ぶんごたけた）は九州の真ん中、熊本との県境に近い盆地にある。人口三万弱の静かな町だ。駅に降り立つと「荒城の月」のメロディーに迎えられた。竹田のシンボルは、この瀧廉太郎の名曲を生んだ「岡城阯（し）」である。

早速、駅で自転車を借り、町外れにある城跡に向かった。内陸にある竹田の冬は厳しく、この日も雪が五センチほど積もっていた。城跡は高さ三百二十五メートルの山の上にある。急な石段を登って、無人の城跡に立った。快晴だったが風がごうごうと鳴り、粉雪が舞い上がる。はるか眼下に竹田の家並み、遠くには阿蘇の山々が見渡せた。驚いたのはその広さで、東西二千七百メートル、南北三百六十メートルにも及ぶ。断崖にそそり立つ石垣が壮観だ。谷へ一気に百メートルも落ち込んでおり、戦国時代、島津勢の猛攻を何度も退けたのもうなずける。しかし、この難攻不落の名城も、明治維新後に取り壊され、現在は石垣を残すのみ。寒さに身を縮めながら進んでゆくと、二の丸跡に瀧廉太郎の銅像が待っていた。

東京生まれの廉太郎は一八九二（明治二十五）年、大久保利通や伊藤博文の側近を務めた父の転任で竹田に移り、十二～十四歳の多感な時期をここで過ごした。荒れ果てた岡城阯でよく尺八や横笛を吹

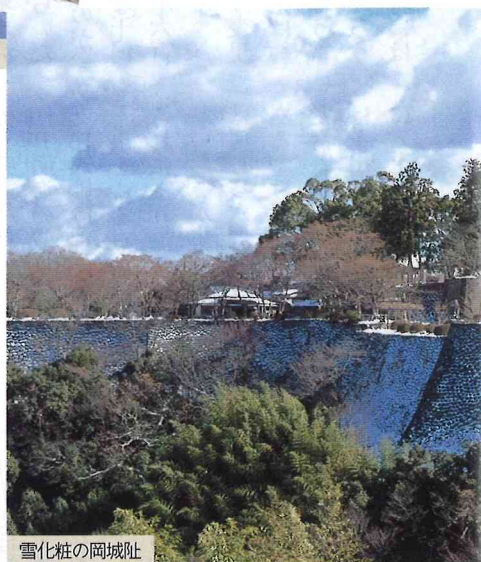
岡城阯の険しい城壁

いていたという。転校を繰り返した廉太郎にとって、多くの友人に恵まれた竹田が心の故郷になった。

「九州の小京都」と呼ばれる竹田には、土塀の武家屋敷が並び、城下町の趣が残る。武家屋敷の一つが廉太郎の旧宅で、「瀧廉太郎記念館」として公開されている。廉太郎の勉強部屋が保存され、自筆の楽譜や手紙が展示されていた。「音楽家になれなければ、歌舞伎役者になる」と言って父を驚かせたエピソードなどを収めたビデオも興味深い。

なお、名誉館長はジャーナリストの筑紫哲也さん。筑紫さんは廉太郎の妹、トミの孫にあたるそうだ。

廉太郎の旧宅を改装した記念館

竹田を後にした廉太郎は一八九四（明治二十七）年、東京音楽学校（現東京芸大）に最年少の十五歳で合格、在学中から多くの名曲を作った。「春のうららの隅田川～」で知られる「花」や「箱根八里」「荒城の月」などである。「荒城の月」は一九〇一（明治三十四）年、詩人の土井晩翠が仙台城や会津若松城の印象を詠んだ詩に、廉太郎が岡城址をイメージして作曲した。

土塀が連なり城下町の風情が残る

この時弱冠二十一歳。廉太郎は、日本の情緒を西洋の旋律にのせた最初の作曲家になった。ちなみに「雪やこんこ」や「鳩ぽっぽ」「お正月」などの童謡も彼の作品だ。

同じ年、廉太郎は官費留学生としてドイツに渡ったが、胸を病んでわずか八カ月で帰国を余儀なくされた。真冬のオペラ座通いが原因と言われる。帰国途上、ロンドンのテムズ河畔に寄港した船に、イギリスに留学中だった晩翠が見舞いに現れた。これが「荒城の月」の作曲者と作詞者の最初で最後の出会いとなる。

日本に戻った廉太郎は大分市にいた両親の下で療養するが、そのかいなく一九〇三（明治三十六）年六月、肺結核で二十三年の短い生涯を閉じた。

雪化粧の岡城址

「亡くなりました翌朝早く、感染を恐れて厳しく私を近づけませぬ母に、そっと隠れて蚊帳をめくり、冷たい兄の頬をさすりやる切なさに泣きました」と、妹のトミは手記に記している。

絶筆は病床で書かれたピアノ曲「憾（うらみ）」。何だか穏やかでない響きである。同記念館の後藤誠子さんから「原題はドイツ語で『心残り』でした。オペラを作りたいという夢があったのでしょう」と聞いて納得がいった。

帰りに大分市の中心街にある「瀧廉太郎終焉之地」に寄ってみた。そこには岡城址にあったのと同じ銅像が立っていた。竹田の小学校で同窓だった彫刻家・朝倉文夫の手によるもので、その台座には「芸術は長く、人生は短し」と刻まれていた。（哲）

アクセス

ＪＲ豊後竹田駅は、大分駅から豊肥線特急で一時間。熊本駅からは特急で一時間半。岡城址は駅から徒歩三十分。

観光一口メモ

竹田には、阿蘇山に育まれた地下水が市内のあちこちから湧く。その量は一日に約六万五千トン。トロリとした不思議な食感があり、日本名水百選にも選ばれている。

また、竹田は日露戦争の旅順港閉塞作戦で戦死した海軍中佐・広瀬武夫の郷里。軍神として祀る広瀬神社の隣には記念館もあり、愛刀や手紙などの遺品が展示されている。

周辺クラブ

竹田ライオンズクラブ（池辺岩男会長／36人）は一九六四年、大分府内ライオンズクラブのスポンサーで結成された。

福岡県
瀬戸内海
日豊本線
湯布院
別府
大分
豊肥本線
熊本県
豊後竹田

佐賀県鹿島
阿蘇山の大噴火が生み出した日本一の干潟

■写真と文：編集部

有明海と言われてイメージするものは、人によってだいぶ違うだろう。ある人は、諫早湾の干拓について熱く語り始めるかもしれない。また、ムツゴロウを思い浮かべる人も多いはずだ。いや、有明海と言えば、やっぱり海苔だろ、との主張にも、うなずかざるを得ない。

有明海は総面積約千七百平方キロ。広さとしては東京湾や伊勢湾とほぼ同じぐらいだが、両者と大きく違うのが、干潮時に出現する広大な干潟の存在。その広さ約八千六百ヘクタールはもちろん国内最大。よく、東京ドーム何個分という表現がされるが、それに倣えば約千八百三十個分。ま、そう言われても、という感じだろうが……。また、大潮の時には六〜七メートルに達するという干満の差も日本一だ。

で、この干満の差が、質のいい有明海苔を生み出す源となっているらしい。海苔の育成には二通りの方法がある。一つは、浅い海に支柱を建てて網を張る支柱式栽培法。もう一つは、海の深い所にウキとオモリでロープのいかだを作り、その中に網を張る浮き流し式栽培法。

有明海の栽培法は支柱式。支柱式は海苔を水から揚げて干出をする点に特徴があり、これにより海苔の柔らかさ、おいしさが生まれる。有明海は何しろ六メートルもの潮の昇降があるわけで、支柱に固定された海苔網は、日中、一日一回は干出されることになる。更に、上げ潮と下げ潮により川の真水と外洋の海水が混ざり、海苔養殖に適した塩分濃度に自然と調合してくれる。まさに、自然の恵みである。

ところで、そんな干潟がなぜ出来たのか。その秘密は阿蘇山にある。

阿蘇カルデラの大噴火は四回あったと推定されるが、最も大きかったのは約九万年前の四回目。この時、火山灰は北海道まで降ったという。

この大噴火によって九州全体に積もった土砂が、長い年月をかけて風化して粘土質の泥に変わり、川によって有明海へと運ばれた。有明海は干満に伴う潮位変動が大きく、また潮流が早いことから、これらが海水で戻され河口部で停滞し、堆積して広大な干潟が出来たのだという。（鈴）

観光一口メモ

鹿島市には「祐徳さん」の名で親しまれ、伏見、豊川と共に日本三大稲荷に数えられる祐徳稲荷があり、参拝者は年間三百万人を数える。また、毎年五月には干潟の上で「ガタリンピック」が開催され、人間むつごろう五十メートル競争、潟輪ビックリゲーム、二十五メートル自由潟など、ユニークな競技が繰り広げられる。

アクセス

JR長崎本線・肥前鹿島駅まで博多駅から特急で約一時間。長崎自動車道武雄・北方ICから鹿島市内まで約二十五分。

周辺クラブ

鹿島市には一九六一年、福岡県・北九州ライオンズクラブのスポンサーで誕生した鹿島ライオンズクラブがある。

長崎自動車道
498
長崎本線
肥前鹿島
有明海
祐徳稲荷
207
444

組織体の違いに学ぶ

■坂本信雄（京都府・亀岡保津川クラブ）
京都学園大学経営学部事業構想学科教授

イラスト／藤英毅

はじめに

前号では、ライオンズクラブとNPO団体を比較して、同じボランティア活動でも行動原理が微妙に異なることを、英語の語源に結び付けて取り上げた。このほかにも違いは随所に見られる。会社がそうであるように、ボランティア団体もそれぞれに異なるのはむしろ当然なのだが、NPOが増大傾向にあるだけに、両者の違いに注目したい。

ボランティアの総合商社と専門店？

まず、組織形態の違いが歴然としている。ライオンズクラブは国際協会の傘下にある。これに対し、いわゆる通常のボランティア団体（ここではNPO法人を念頭に置く）は単独の組織体であり、しかも連合体を組んでいる事例もほとんど見当たらない。両者の主な違いを表に整理してみよう。

■ライオンズとNPOの比較

	ライオンズクラブ	NPO法人
行動原理	社会奉仕	ボランタリズム
組織形態	国際的組織	単一組織
活動領域	地域社会を含む全世界	特定地域
活動分野	多種多様	特定
役員の任期	1年	2年
事業費	資金獲得事業による	会費・寄付・手数料など
評価の仕組み	表彰	内部及び外部制度など

組織形態の違いはおのずと活動領域や活動分野にも絡んでくる。ライオンズは地域密着型の活動を展開しているが、他方ではLCIFを通じて世界的規模の災害復興支援なども行っている。しかし、同時に海外でのボランティア活動を行っているNGO（非政府組織：元々は国連の委員会への出席を認められた団体）は、国内での活動を兼ねているわけではない。

活動分野を見ても、ライオンズは「視力ファースト」のように国際的な課題に取り組むほかに、それぞれの地域におけるクラブ単独のボランティア活動もあり、実に多種多様である。これはNPOやNGOなどのボランティア団体が介護や街づくりなど、それぞれに特定分野を掲げて活動していることと極めて対照的である。

販売業に例えれば、ライオンズはボランティアの総合商社、NPO法人などは専門店と言えよう。

会員拠出だけが資金源ではない

ボランティア活動が総合的に展開されるべきか、あるいは特定の分野に特化すべきかの議論はあまり意味がない。ボランティア活動そのものにはおよそ優劣がないからだ。

ただ、活動を支えるためにはそれなりに資金が必要であり、一般的には活動内容が多様化するほどに必要資金も多額になる。従ってその資金調達に関心が集まる。

ここでNPO法人を見てみると、会費だけでなく寄付や行政からの補助金・委託金、企業からの助成金など資金源は多様であり、特に税制上の優遇措置をより大きく受けられる「認定NPO法人」には「外部からの寄付や助成金の割合を総収入の20㌫以上」とする基準もある。

これに対しライオンズの事業費は、『ライオンズ必携』（25〜29㌻）によれば、必要資金を自ら調達することになっているが、実際はライオン誌によるクラブ・アンケート（2005年10月実施）結果が示すように、かなりの部分を会員拠出で賄っているものと見られる。会員自らの自前資金で賄うのは一見、安定的運営になっているものの、市民の評価を得るには、むしろ外部からの資金を増やすことも考えるべきかもしれない。

LCIF REPORT

日本ライオンズの交付金事業例

ベトナムへ信号機及び交通安全教本を寄贈

●愛知県・名古屋東山ライオンズクラブ●

一般援助交付金交付額：20,000ドル　事業完了日：2005年7月8日

LCIF事業実現を見据え動き出した女性会員

名古屋東山ライオンズクラブが所属する334-A地区は、LCIF献金額が世界一の地区だ。クラブとしてもLCIFには、これまで積極的に協力してきた。こうした背景もあってクラブ内には、LCIF事業を一度は行ってみたいという意見が以前からあった。それが、単なる希望ではなく、明確にLCIF事業実現を見据えて女性会員たちが動き始めたのは二〇〇三年。この年、クラブ内に「海外支援事業ワーキンググループ」という名のプロジェクト・チームが立ち上がった。メンバーは女性会員六人であった。

ワーキンググループは、形式上は趣味部会の一つという立場であったが、立ち上げ当初からLCIF事業実現に向けて積極的に活動を行ってきたという点で、限りなく委員会に近いチームであった。予算も権限もなかったが、LCIFに見合う海外支援活動を模索する女性会員たちの動きは活発だった。情報収集を繰返す中、名古屋市内にある国連組織国連地域開発センター（UNCRD）で興味深い話を聞くことが出来た。

そのころ、UNCRDでは設立三十五周年記念事業の一環として、開発途上国の貧困撲滅、環境保全を目的に民間と国連が強力なパートナーシップを築く「グローバル・パートナーシップ・プログラム」を立ち上げようとしていた。具体的には、開発途上国向けのプロジェクトに対し財政的支援を希望する中部地方の企業やNGO、個人を募り、UNCRDが相手国との橋渡しを務めることで、国連と民間が、共同で開発途上国の地域政策を展開するという試みである。いくつかあるプロジェクトの中からワーキンググループが選んだのは、ベトナム・ハノイ市内に自動信号機を設置するというものだった。ちなみにこの案件は、グローバル・パートナーシップ・プログラムの第一号の事例となり、地元の新聞にも大きく取り上げられた。

信号機が設置された交差点。信号機の支柱にはライオンズクラブのプレートが付けられた

ハノイの子どもたちに安全な環境を

ハノイ市の中でも交通量の多い都心部のキム・リエン地区には、四つの幼稚園、小学校が密集している。この地域の通学路に信号機がないため、多くの子どもたちが交通事故の犠牲になっているという。

ある報告によると、アジアの自動車保有台数は世界の一六%であるにもかかわらず、交通事故による死者の割合は世界の六割にも上る。被害者の多くは子どもである。ベトナムのハノイやホーチミンといった大都市でも、自動信号機の数が少なく交通事故の数は急増しているという。ベトナム国家交通安全委員会（NTSC）のデータによると、過去十年間で交通事故の発生件数は、年間六千件から約二万五千件と四倍近くも増加している。

「キム・リエン地区の現状を知っ

贈呈式会場となったキム・リエン小学校で、感謝状を受け取る加藤重彦会長

て、ワーキンググループでいろいろな条件を検討した結果、ハノイの信号機寄贈プロジェクトに協力したいと意見がまとまりました。当初から子どもを対象にしたものを、という考えがありましたから」

と、ワーキンググループの女性会員たちは話す。

例会の後には、ワーキンググループのメンバーで集まり意見交換を繰り返し、具体案を詰めていった。案がまとまると、プロジェクトについてクラブに相談した。

クラブ内で理解を得られたのは二〇〇四年五月。ワーキンググループは委員会に昇格。理事会で、信号機寄贈プロジェクトは正式に名古屋東山ライオンズクラブのアクティビティとして承認された。

その後、当初の目標通りLCIF交付金を申請。十月末には、全事業費のほぼ半額に相当する二万ドルの交付金がLCIFから振り込まれた。

芽生えつつある交通安全意識

当初の予定では、安価なベトナム製の信号機を購入し、出来る限り多くの場所に設置するつもりだったが、ハノイ市には将来的に交通量把握システムを導入する都市計画があり、信号機はどうしてもシステムに合致するものである必要があった。

「結局、コストが倍以上のドイツ製の信号機にせざるを得ず、設置出来るのは二基だけとなりました」

と、ライオン浜島は振り返る。また、現地の交通局から許可がなかなか出なかったこともあり、予定通りに作業は進まない。二〇〇五年六月に完成する予定だったが、工事の終了は年度をまたぐ結果となってしまった。

予定していた数、完成日とはいかなかったが、通学路の交差点に二基の自動信号機が設置された。

ハノイ市の中でも中心部のキム・リエン地区は交通量が多く、事故も急増している

信号機に加え、交通安全に対する意識を高めてもらおうと「交通安全の教本」を作って寄贈した。また、周辺の小学校ではノートや鉛筆、定規といった学用品が不足しているというので、学用品三千四百部を用意し、近隣の子どもたちに配布した。

二〇〇五年七月に、信号機が設置されたすぐそばにあるキム・リエン小学校で、引き渡し式が行われた。名古屋東山ライオンズクラブからは五人が参加。ベトナム政府から感謝状などが贈られた。この時、政府の環境省の役人は、次のように語ったという。

「あなたたち外国の方にとっては小さなことかもしれないが、我々にとっては大きな意義のある出来事。心から感謝しています」

キム・リエン地区の人々は現在、信号に従って道路を横断し、信号に従って自動車やバイクを停発車させ、安全確認をしている状況だという。このLCIF事業は、通学する児童のみならず地域社会の人々の交通安全意識の向上にも多大な影響を及ぼすこととなった。

砂山幹博（ルポライター）

獅子吼

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

（応募要領→56ページ）

薬物乱用から子どもを守ろう

森　一男（北海道・サッポロシニア）

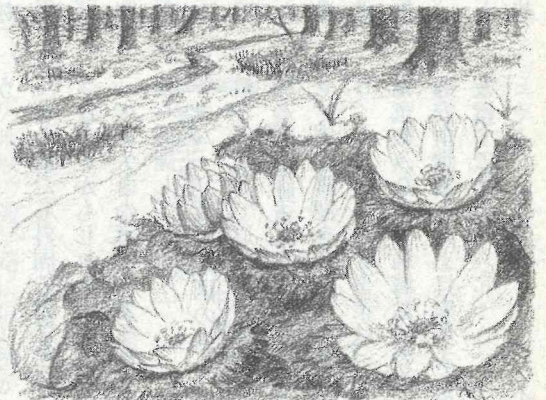
「大人たちよ、優しさと愛で、子どもたちを育て上げてください」

夜回り先生こと水谷修さんの講演会が、昨秋、札幌市民会館で開かれた。先生は、地元・横浜や、全国のネオン街を深夜パトロール。非行に走り、薬物に溺れたり、溺れそうな五千人の子どもとかかって、更生させようと努力している異色の存在だ。

講演会は、札幌オーロラ・ライオンズクラブが、「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』」キャンペーンの一環として開催した。体験談は衝撃的で、聴衆の胸に突き刺さった。

「皆様は、昼の世界の人間、私は夜の世界の人間です。かかった子どものうち三十人が、命を失いました。精神錯乱などによる事故死が六人で、薬物による死が二十四人です。子どもを傷つける大人は、絶対許せません」

一時間半の講演で、死に追いやられた子どものケースを二例話した。中でも悲惨で涙を誘ったのは、愛ちゃんの話だ。

「私が、愛ちゃんを知ったのは、五年前。彼女は中学三年生でした。一回くらいならと軽い気持ちで薬物に手を出して、既にシンナーを三回、覚せい剤を五回打っていました。脳の断層写真を撮ったら、外側の八パーセントがやられていて、十代なのに八十代の脳となっていました。覚せい剤を買うために、体を売り、四十五人の中高年と関係を持ちエイズに感染したそうです。二〇〇二年十二月にエイズが発症し、入院。見舞いに行きましたが、五十キロの体は、二十キロに痩せ細っていました。顔は、骸骨のようで、体は斑点だらけでした。私が、枕元の丸いすに腰掛けると、嬉しそうに僕の顔を見、手を持ち上げようとしましたが、上がりません。ベットの上で腕を何分間も這わせ、小指でようやく僕の顔を撫でました。『先生、これからも講演するよネ』『生きている限りするサ。お前たちの苦しみ悲しみを、一人でも多くの人に伝えないとナ。喋ったり、本に書かないと、亡くなった子どもらを生き返らすことは出来ないからナ』

イラスト／小川和政

『先生、すべての講演で、愛のことを話してネ。夜の世界から昼の世界へ戻る子が、一人でもいたら、愛が生きた意味があるから』

愛ちゃんは、薬物乱用で痛み止めのモルヒネも効かなくなり、二〇〇三年十二月十五日未明、お気に入りのセーラー服を身にまとい、十八歳の若さで息を引き取りました」

水谷先生は、横浜出身。苦学をして、上智大学文学部を卒業。横浜の養護学校を経て名門高校の教師になる。一九九〇年十二月、水谷先生の人生を変える一本の電話がかかって来た。夜間高校の先生をしている友人からだった。寿司屋で会う。

「水谷、腐った魚じゃうまい寿司は、握れない。教育もそうだ。お前は優秀な生徒に囲まれ、いい教育が出来る。オレは、腐った生徒相手に、いい教育なんか出来ない」

水谷先生は切れた。「そういう子どもを救うのが教育だ」。九一年から夜間高校の教壇に立つ。翌九二年から、闇の世界に沈もうとする子どもらを救うため、夜回りを始める。テレビや著書で、水谷先生の存在を知った子どもらから、何万件ものメールや電話相談が来る。水谷先生は、講師などで学校を休む日が多くなり、〇四年九月に教諭を辞めた。

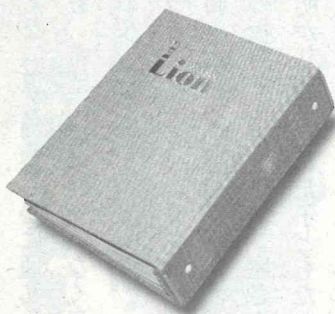
水谷さんは、札幌での講演の最後に、「子どもを美しい言葉でほめてやってください。帰ってきてくれてありがとう。勉強してくれてありがとう。お風呂に入ってくれてありがとう。一日に何回もほめると、子どもの目は輝いていきます。子どもらに愛と優しさをたくさん与えてやってください」と、持論を展開した。

子どもの四人に一人は薬物に誘われ、三十九人に一人は実際に使うと言う。「ダメ。ゼッタイ。」に立ち上がっているライオンズクラブは全国に多い。薬物乱用の阻止に本腰を入れる時だ。青少年の健全な育成に力を入れているライオンズクラブの大きな使命である。

(元新聞記者・67歳)

希望の道は、自分の足元に

小野山 征男(高知鏡川)

高知鏡川ライオンズクラブに入会して半年が過ぎた。推薦されたころは正直、「ライオンズクラブは、お金持ちの道楽」というイメージ

が強く、現会長に若いころにずいぶんとお世話になっていたからという、恩返しのつもりで入会した。

最初はこんな志だったので、一カ月は三十日しかないのに、定例会だけで二回もあることに閉口したこともあった。しかし、アクティビティに参加していくうち、ライオンズでなければ得られない感激を味わい、ライオンズに対する、私の気持ちが変わっていった。

それは、ライオンズ会員の医師たちと、ある福祉施設を医療訪問した折のことだ。施設の先生から、「ボランティアの存在が、いかに大切か」という話を伺った。

なんでも、ボランティアで訪れた板前さんたちが、子どもたちの目の前で料理を作ったことがあるという。おいしい料理を食べて感激した子どもの一人が、後に板前さんに弟子入りをしたそうだ。ラーメン屋さんが来てくれた時も、後にラーメン屋さんに弟子入りをした子どもがいると。温かな食べ物を口にした時、食べた人の心にも温かな火が灯るのだと思った。施設の先生は「彼は、桟橋（高知市）のラーメン店で働いています。どうぞ、ごひいきに」と一言付け加えた。教え子を案ずる心に感涙した。

こっそりそのラーメン店に行ってみた。笑顔で働く青年を見て思う。親の愛に見放され、明かりの見えない道も、どこかに通じる。一寸先が闇でも、希望の道は間違いなく自分の足元に敷かれていると。

ヘレン・ケラーの「ライオンズよ、闇を開く十字軍の騎士たれ」の言葉が浮かんだ。ボランティアの板前さんやラーメン屋さんのように、私も明かりを奪われた子どもたちの前途を、ささやかであっても、照らし続けられる人間になろうと決意した。（元公務員・63歳）

盲導犬という名の天使

三宅　厚子（岡山パール）

平成十七年十月十四日、午後六時半、場所は岡山シンフォニーホール。世界的バイオリニストの登場を待ちわびる。盲導犬育成に理解を示し、この日のチャリティー・コンサートに集まってくれた人たちは総勢千八百人以上。熱い視線と限りない拍手で幕は開いた。

その人の名は佐藤陽子さん。彼女自身、盲導犬を愛する支援者の一人だ。演奏会に入る前、彼女は、盲導犬への熱い思いを切々と語り始めた。そこにも愛情の深さが感じられる。

やがて、ピアノと共に始まる、佐藤さんの体全体で表現する独特の演奏スタイルとバイオリンの音色には、強さ、優しさ、いとおしさが共存し、子犬たちのたゆまぬ訓練の様子が重って、思わず涙があふれそうになった。

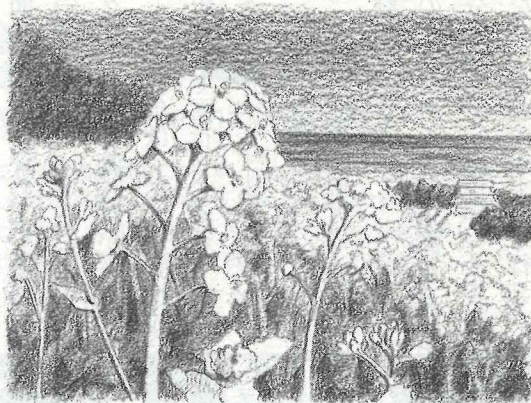
盲導犬には、自由な時間はない。常に、守りの姿勢を崩さない、ボディガードのようなものだ。そこに至るまでの訓練士さんたちの努力もまた計り知れない。気の遠くなるような忍耐と愛情で育て、立派な盲導犬として送り出す。

しかし、そんな完璧な忠犬でも、時にはご主人様のそばを離れて好きな所へ走って行きたくはないのだろうか。気の向くまま散歩している「友犬」たちとすれ違う時、一緒に遊びたいとは思わないのか。いいえ、どう見ても私には、我慢しているようには見えない。むしろ、愛するご主人様と一心同体になることを誇らしげに思っているかのようだ。

その瞳には一寸の迷いも疑いもない。見返りの心や、欲、得もない。

「私たちは、あなたに『天使』の称号をあげたいのです」

「ワンワン。でも今の社会は、なんでこんなにも歪んでしまったのかな。優しさや誠がなくなったよ。それどころか、簡単に人が人を平気であやめてしまう時代になっちゃった

よ」
つぶらな瞳が、そう訴えているようだ。最近どこかが違ってきている。人間が本来の心を失っている。心の絆で結ばれるって、いったいどういうことを言うのだったか。しかし、彼らを見ていると、いつどんな時にもスタンバイし、体を張ってご主人様をお守りする。オーバーな言い方かもしれないが、盲導犬の姿は、遠い昔の日本人そのものではないだろうか。

今回の盲導犬育成支援は、スポンサー・クラブの岡山ライオンズクラブとの合同アクティビティだった。盲導犬友の会からも愛犬と共に数人の方の参加があり、まるでお願いするかのように、ハーネスを着けた「タム」も募金箱の横へきちっと座っていたのが印象的だった。シンフォニーホールの席数は、二千席。ほぼ満席で、私たちは、盲導犬を一頭贈ることが出来ると確信をした。

いよいよ、クライマックスが近づく。アンコールの拍手は、二曲目が終わってもまだ鳴り止まず、佐藤さんの力強い音の響きは、十分お役目を果たした。

盲導犬は、ユーザーの手に渡るのに、およそ二百万～三百万円を要する。現在、国内での盲導犬普及率は、視覚障害者の数に国内で盲導犬を必要としている人は、約十三万人。対して、一割程度しかないのが現状だ。

厳しい状況ではあるが、私たちは、これからも盲導犬育成に協力し、サポートし続けたい。視覚障害者の人たちの下へ、一頭、また一頭と、可能な限り贈り続けたい。そして、明るく楽しく安心して生活して頂きたいと、心から願っている。私たちの趣旨に賛同してくださる方々、どうか育成に温かいご支援と

ご協力を頂けますように……。そして、これからもヨロシク！ 盲導犬という名の天使たちよ、ありがとう。

（卸・小売業・47歳）

つかの間の触れ合い

佐藤 寛（茨城県・阿見）

阿見町とアメリカ・ウィスコンシン州スーペリア市は姉妹都市で、毎年、お互いの市町を訪問して交流を深めている。

二〇〇四年は、スーペリア市からライオンハンク・クリーガーと奥さんが一緒に来町したので、二〇〇五年は、私と浅野恒雄会長、それに通訳として同行してくれていた留学生の広瀬美香さんが、ホーム・ビジット（ホスト家庭に一日滞在）でクリーガー家の夕食に招かれた。私は、海外で個人宅へ行くのは初めての経験だった。

彼の家は、ホテルから高速道路を使って約四十分。出発する時に、「その高速道路は面白くないから別のルートで行こう」と言われ、森の中の真っ直ぐな道を進んだ。車のすれ違いのない寂しい道だったが、樹木の紅葉はとても美しく、別ルートで良かったと思う。

途中、ライオンハンクの別荘に立ち寄ることになった。別荘の裏には、面積十六ヘクタールの森と二ヘクタールの湖があり、静寂で神秘の湖には驚かされた。彼は我々にこの自然を見せたかったのだろう。湖まで十五分。コケむした森の中に板を敷いて通路を作り、コケやシャクナゲ等の植物が守られており、自然を大切にしている。彼は、いつかこの湖のほとりに小屋を建て、趣味であるヨガをしながら瞑想にふけりたいと語っていた（私は釣りをしたいと思ったのだが）。

ライオンハンクは多趣味で、ヨガのほかに、無線のライセンスを取って、世界中の人と交信したり、工作機械で、家具作りや自分の家まで建ててしまうほど器用な人である。日本人と生活レベルが違うのか？ それとも他人を気にせず自分の自由を大切にしているのか？ いずれにしても大自然の中で生活している様子が良く見え、スケールが大きいと思った。

紅葉した森を抜け、ビーバーのいたずらぶりを聞きながら家に着く。奥さんとは、日本で一度お会いしていたので、親しみを込めてもてなしてくれた。

奥さんはドイツ生まれのアメリカ人。夫婦の会話はドイツ語だそう。ライオンハンクは立派なひげを生やし、少々変わった人に見えるが、大人しい人で、常に奥さんの話をよく聞いてあげ、いたわっていた。

ライオンハンクの仕事は大学の教授で、歴史が専門。三十万年前の石器や専門書を出して説明してくれたり、旅行も好きで、地図まで出してきてアフリカの話もした。あっという間に時間が過ぎ、帰る時間になってしまった。お互い別れを惜しみながら「また逢う日を楽しみに」と、ハンク・クリーガー家を後にした。

今回、スーペリア市に滞在して、「人をもてなす親切な心」と「物や自然を大切に守る心」に触れることが出来た。このような心を私も数多く持ちたいと思う。今回は訪問に誘って頂き、ありがとうございました。

（造園業・60歳）

ご両親に安心をお届けする

信頼の学生会館ガイド

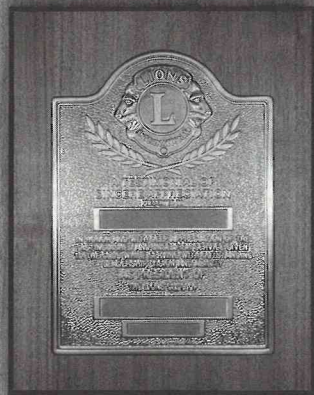
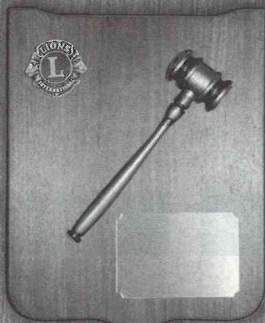
24時間管理体制、防犯・防災設備も万全

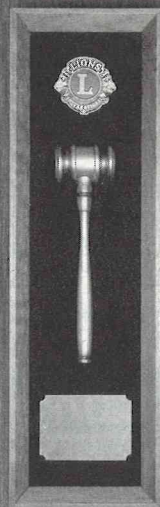
学生会館は入居されたその日からすぐ生活できるよう設備が整っています。居室には机や書棚、洋服ダンス、ベッドなど学生生活に必要な基本的なものから、空調設備やユニットバス、電話、館によつてはキッチン、冷蔵庫も設置されております。またロビーやランドリー、大浴室など各種共用設備も敷設されていおりますので、入館される学生さんは身の周りの品を持参し整えるだけですみます。防犯防災の面でも24時間にわたる管理体制を敷いておりご両親に安心をお届けいたしております。

●ご入館のお申し込み、資料のご請求などは直接各会館にお問い合わせ下さい。

功労者に贈る楯のご案内

（ご注文はなるべくお早めに）

※各楯（G-579,G-455,G-230）のデザインは
会長用…槌　幹事用…羽　会計用…鍵

G-66
サイズ：38cm×30cm×1.5cm
単価：＄120.63（￥14,114）

G-230
サイズ：32cm×26cm×1.3cm
単価：＄114.32（￥13,375）

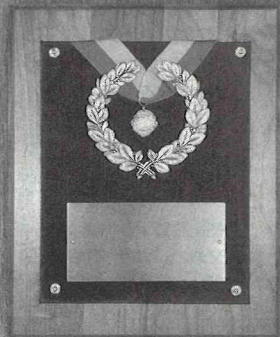
G-579
サイズ：23cm×18cm×1.9cm
単価：＄128.05（￥14,982）

G-455
サイズ：49cm×14.5cm×4cm
単価：＄154.07（￥18,026）

TR-269
サイズ：20cm×15cm×1.7cm
単価：＄37.26（￥4,359）

TR-126
サイズ：33cm×27cm×2cm
単価：＄98.28（￥11,499）

G-137
サイズ：30cm×38cm×1.5cm
単価：＄131.84（￥15,425）

G-702
サイズ：23cm×18cm×1.5cm
単価：＄43.35（￥5,072）

G-1142
サイズ：20cm×15cm×1.7cm
単価：＄52.76（￥6,173）

お知らせ

国際平和ポスターコンテストキットの注文は、国際協会本部からの『極力、日本事務所を通して注文する様に』との意向により、日本事務所に在庫しております。ご注文の際は、直接、国際協会本部には注文せず、当事務所へ注文頂ければ、従来より早くお届けする事が出来ます。

単価は2006年1月のものです（1ドル117.00円）。ご注文はクラブ事務局を通じてお願いいたします。

①ご希望に応じて、文字の彫刻をいたします。原稿を添えてご注文ください。
②ご注文をいただき彫刻して１カ月以内にはお届けする態勢をとっています。
③これ以外にも、国際協会より取り寄せ可能な楯が多数ありますので、詳細についてはお問い合わせください。

ライオンズクラブ国際協会日本事務所（ＪＲ五反田駅下車徒歩７分）

〒141-0031東京都品川区西五反田7-22-17T.O.Cビル6階16号　TEL03(3494)2931　FAX03(3494)2933

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

福笹の頰に触るるもまた福と　（大阪カトレア）吉村美穂子

（評）一月十日の初恵比須（十日戎）。兵庫県の西宮戎・大阪の今宮戎・京都建仁寺門前の蛭子社などが全国的に著名。戎社は元来、福神として商人の信仰が厚い。境内や沿道では小笹にいろいろの宝物を吊した福笹が売られ、福笹に触れることもまた福と思っている。

北風の連れ来し雨の御堂筋　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）御堂筋は大阪駅前阪急ビル正面から、中之島・船場・島之内を貫いて南海本線難波駅まで北・東・南の三区を南北に走る約四・一キロのメーン・ストリート。北風が連れて来た雨が降っている。

（応募要領→56ページ）

【入選】▼

富山湾漁火漂ふ松の内　（新潟万代）相田捷三
教へ子の白髪目につく新年会　（千葉県・大栄）野平婦基子
写経会のしづかに障子明りかな　（千葉県・船橋シニア）紺谷宗男
翡翠の枯葺原に瑠璃の色　（埼玉県・大宮中央）尾形康夫
きび餅の混じる雑煮を祝ひけり　（愛知県・高浜）岩月三則
篝火の燃えてをるなり除夜の宮　（三重県・伊賀上野）豊岡はつ子
大佛の掌に乗り煤払ひ　（福井県・敦賀）山本麓潮
地下足袋の干され勤労感謝の日　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子
短日の明石大橋灯点りぬ　（兵庫県・神戸シニア）野口章子
山焼の法の声挙ぐ奈良法師　（兵庫県・西脇）高瀬博子
那智の滝神々しきや初詣　（大阪プラム）竹田房子
丹波路の雲低くして牡丹鍋　（大阪府・東大阪）木村稔
つやつやと新米のあり食の秋　（大阪府・池田）池内彰
顔見世の余韻京の町星満てる　（大阪府・堺浜寺）宮部志都代
たたなはり遙か真白に紀伊の嶺々　（和歌山県・伊都高野山）慈幸貴洋

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

「赤鼻のトナカイさん」のうたうたひ原発の灯をともすこの夜（よる）
（青森県・弘前）岩間　甫

（評）青森県六ケ所村で、東通原発一号基の運転が十二月八日から開始された、と聞いている。青森県では、はじめての原発である。掲出歌下句の「原発の灯」は、この時事を捉えているのであろう。上句にある唄では、トナカイさんの赤鼻が暗闇の道を照らし、サンタクロースがよろこぶのだが、この原発の灯を青森の人たちは果たしてよろこぶのか、よろこんでいいものであろうか——。原発運転が、たまたまクリスマスに近く、機知によって生まれた一首だが、深い意味を含んでいる。

（応募要領↓56ページ）

【入選】▼

とざされた原に眠れるものたちの小さき生命の鼓動をおもう
（青森まほろば）加藤　捷三

フォアグラとう天下の珍味作るため鵞鳥に強いる飽食の日々
（青森県・五戸）吉田　晶二

その六角の角がぶつかり結晶が潰れる音して雪積りゆく
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

そこだけが時の止まった場所のごとタンスの跡の青き畳は
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

義経は蒼ばかりの青衣　菊師は注ぐ命の水を
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

耳鳴りを地獄の音と言う我に極楽の鐘聴けると医師が
（岐阜県・大垣水都）小玉　啓一

ビル窓より屈折の陽を受け街路樹の息づく下をくぐりて歩む
（三重県・四日市北）横井　真澄

白き足袋少し覗かせ祝着に孫は少女へと階段のぼる
（石川県・羽咋）竹津　弘子

セピア色の写真の男の子の抱へたる白き仔山羊はいまも白色
（兵庫県・加美）藤田紀久子

庭の雪握りて立木を幼友に見立て放（ほう）れどそれに届かず
（高知県・土佐香南）野村土佐夫

柳壇

■選者　大木俊秀

【入選】▼

自分史が書けなくなってからひとり　（青森県・八戸中央）大久保健峰

榾の火に老猫足を投げている　（新潟万代）相田　捷三

犬までも妻に味方の女系です　（新潟県・五泉）長澤　信一

温暖化蹴飛ばしてくる雪女郎　（新潟県・五泉）佐藤　隆吾

奉仕の輪年の始めにミーティング　（千葉県・多古）髙岡　信喜

点滴のリズムタンゴかブルースか　（愛知県・半田）浦山　浩充

誠実に生きて小さい松飾り　（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

広島弁喋る殻付き牡蠣が着き　（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

怒ってるようで惚れてる京ことば　（京都鴨川）栩谷　四朗

鉄筋の数で思案に暮れる人　（鳥取県・倉吉打吹）森脇　涼生

日が暮れて風呂場にふわり時を脱ぐ　（鳥取県・倉吉打吹）田原隆之助

先生に年賀状でも叱られる　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

寝そべってニート小さな嘘をつく　（宮崎橘）甲斐　忠視

年金で飲めるお酒はたかが知れ　（佐賀県・神埼）園田　祐

急ぐまい歩幅それぞれ違うはず　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

【特選】

帰省して旬の野菜の味を知る　（青森県・弘前中央）高橋　岳水

（評）促成栽培と抑制栽培が今や当然のことになってきて、野菜や果物から季節感が薄れてしまったが、やはりほんものの味を楽しませてくれるのは、太陽と雨を存分に吸った露地の旬のものである。田舎へ帰る喜びの一つは、この、ほんものの旬とのご対面だ。

休肝日書いてすぐ消すカレンダー　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

（評）私の三年ほど前の句に、「友だちのほうが休肝より大事」がある。カレンダーに大きく「休肝」と昨日書き入れたばかりの予定を、すぐ消さざるを得ない事態が生じたのであろう。しぶしぶ消されたのか、いそいそと消されたのか。それはもちろん……。

（応募要領→56ページ）

クラブ会員刊行物

●縁側の語らい

著者／村山正則（岡山県・児島鷲羽ライオンズクラブ）発行／三宅印刷㈱（TEL〇八六・四七二・二二八八）

開業医である著者が日常を見つめて綴り、「児島医師会報」などに寄稿した短文、四十七編を収録。四冊目の随筆集。

B6判　本文173ページ
非売品

●ふくしまの鉱山

著者／佐藤一男（福島県・会津塩川ライオンズクラブ）発行／歴史春秋出版㈱（TEL〇二四二・二六・六五六七）

三代にわたる鉱山の家系の最後の山師が山に生きた経験を語る。長く人類の発展に貢献してきた鉱山の歴史や、鉱山における組織、生活など。

B6判　本文190ページ
1,200円

●改正高年齢者雇用安定法の対応と留意点

B5判　本文32ページ
350円

著者／田中秀樹（東京志村ライオンズクラブ）発行／税研情報センター（TEL〇三・三二九四・四八五七）

個々の企業に合った同法に対する対応を、Q&Aを用いて具体的に解説。制度導入を企業の活力を生む起爆剤として生かせるか？

ライオン誌事務所来訪者芳名録

日付	クラブ	氏名
1/13	東京上野東	中村保彦
1/13	東京鶯谷	西村泰一
1/13	東京駿河台	芹沢真
1/17	千葉県四街道	楠岡巌
1/30	北海道小樽中央	高山博志
2/7	茨城県水戸	渡辺輝徳
2/7	茨城県水戸	桧山一郎
2/10	埼玉県和光	井上嘉一
2/10	北海道旭川平和	山田稔
2/10	茨城県水戸西	奥田俊亮
2/10	静岡県沼津	土屋誠司
2/10	兵庫県姫路白嶺	大西政一
2/10	愛媛県松山西	宮内浩四郎
2/10	鹿児島県鹿屋	伊集院一男

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」62ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。
●応募作品（題材は自由）プリント（サービス判～キャビネ判）、スライド（35ミリ以上）、データ（長辺1600ピクセル程度／JPEG最高画質）。一人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」63ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」60～61ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）やそのご家族、クラブ事務局員など。
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200～2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

本文

■「クラブ・リポート」22～26ページ
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

■「獅子吼」48～52ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」53～55ページ
●会員及びその家族。
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」56～57ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 編集部

活性化を考える

●一月号「ピックアップ」のキャビネット運営についての座談会は、いろいろと当面する問題について検討されていて参考になった。ただ、座談会はもちろん問題提起であって結論ではないのだが、必ずしも同意出来ぬ内容もあった。各クラブで真剣に検討すべき問題点の指摘として、参考にさせてもらいたい。もちろん地域によって条件は同一ではないのだが。

東京紀尾井町●山本祥夫

キャビネット運営の一考察

●当地区は以前山形県と二県で332-E地区を構成していましたが、地区分割後、秋田県単独の332-F地区となりました。結果、十二年に一度くらいの周期だったキャビネット事務局が、六年～三年に一度回ってきそうな勢いです。今の景気動向などからして、キャビネットへの資金的及び人的支援には大変厳しいものがあります。このままでは引き受けクラブがなくなり、大所帯で資金力のあるクラブだけが、ガバナーを出すことになります。そこで提案です。①キャビネットはリジョンで引き受ける。②ガバナーはリジョン内クラブの持ち回り。③経費は均等に分担する。④キャビネット会議などは公共施設を使う。力のないクラブにも光が当たるように考えてはいかがでしょうか。

秋田県・比内●殿村直也

よもや、あの川が

●「ヘッドライン／ワースト1の汚名返上」の大和川のクリーンアップ活動を拝読致しました。私も三十余年、堺で生活していましたので、その汚れはよく知っています。五年間も活動を継続されてとうとう魚釣りの出来る川に戻されたとのこと、感激しました。ライオンズと地域住民、行政、そして企業の協力はすごい。岸和田でも近くの春木川のクリーンアップ運動を、地域住民と共に頑張っていますが、すぐに缶ゴミなどが捨てられている状況です。一日も早く子どもの遊ぶ姿のある春木川にしたいと思いました。

大阪府・岸和田コスモス●八田章子

ライオンズのあり方を再考する

●今月から始まったライオン坂本信雄の「競争時代を迎えたボランティア活動」を読み、誠に時宜を得たものと受け止めました。クラブ例会などの話題に提供しながら、会員全体の課題にしていきたいものと考えました。

青森県・蟹田●若佐孝雄

献血の尊さを再認識

●一月号「こころのチキンスープ／血液は命だった」を読み、涙があふれて止まりませんでした。今年の春、我が家に女の子の初孫が誕生しました。色白のプックラとしたかわいいホッペ。本当に天使が舞い降りて来たような愛しい赤ちゃんです。生後八カ月の時、下痢で数日入院し、小さな手に点滴をしているのを見た時は、どんなに胸が痛んだか。「幸美ちゃん」と孫が重なり、他人事とは思えないのです。縁あってライオンズクラブ事務局へ勤務させて頂き、初めての献血体験以来年二回、献血奉仕を会員さんと共に行っています。今まで輸血を身近に感じたこともありませんでしたが、今回深く考えさせられました。これからも出来る限りの奉仕をさせて頂こうと思います。

岡山グリーン・事務局●原田奈津子

子どもとの対話を見直す

●荒川隆志編集長の「編集室」でコーチングについて読んで、私と子どもの関係を振り返ってみました。このページをハサミで切り取って、もう一度読み返してみようと思いました。

愛知県・名古屋ブルースカイ●竹内貴美子

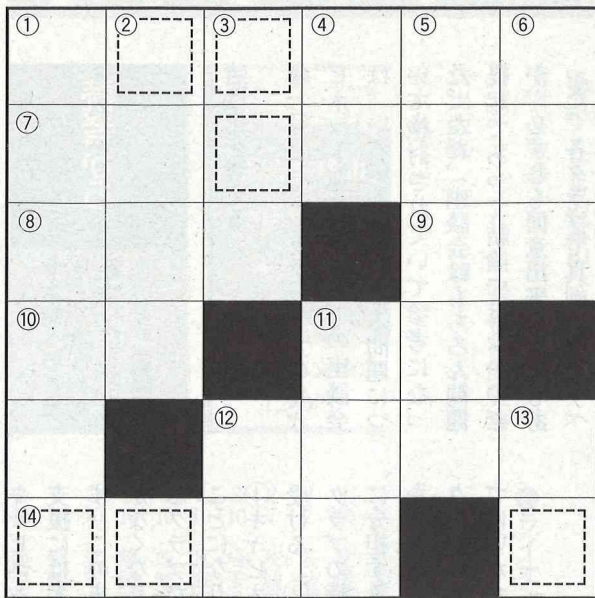
ライオンズの窓『ライオン』誌

●病人を抱え、例会出席も何とかやりくりして無欠席を続けている状態です。でも『ライオン』誌のおかげで、各種大会には出席出来なくても、さまざまな様子が分かり、楽しみにしています。

島根県・浜田マリン●永岡栄子

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は66ページ）。締切は年三月二十日。

①	②（点線）	③（点線）	④	⑤	⑥
⑦		（点線）			
⑧			■	⑨	
⑩		■	⑪		■
	■	⑫			⑬
⑭（点線）	（点線）		■		（点線）

解答 □□□□□□

ヒント：新クラブの指導に当たるライオン。

↓タテのカギ

①トカゲ、ワニ、ヘビ……恐竜もこの一種。

②蚕を飼うこと。

③物事の善悪や是非を判断する見識や能力を備えていること。

④スリランカ南東部の山岳地帯で生産される紅茶。

⑤日本で一番長い川。

⑥九一・四四センチ。漢字で書くと「碼」。

⑪腕前。各種検定制度もあり。

⑫接尾語的に使い、小さく丸い様を指す。犬の名前としても正統派（?）。

⑬人の好みはさまざま。「○食う虫も好き好き」。

←ヨコのカギ

①二〇〇五年十二月～〇六年六月に入会した元会員と、現会員の○○○は、入会金が払い戻しされます。

⑦ライオンズでは三月はこの役職者の月。

⑧気晴らしに遊びに出掛けること。行楽。

⑨ここが痛い？ 風邪じゃないですか。

⑩開けたり、尽きたり、試したり。

⑪十億倍を表す単位。ギリシャ語で巨人の意。

⑫ナマコのはらわたの塩辛。

⑭昔の携帯用薬入れ。テレビドラマでは水戸の黄門様の最後の切り札。

■前回の答え

キ	コ	ク	シ	ジ	ヨ
ノ	ウ	サ	ン	ブ	ツ
ツ	[ケ]	■	ジ	[ン]	ギ
ラ	ン	イ	[ン]	■	リ
ユ	■	コ	■	ト	■
キ	キ	[ジ]	ヨ	ウ	ズ

答えは「ケンジン」

トーチカを売ってくれ！

●第3回（アルバニア）

厚沢弘陳（あつざわひろのぶ）
（東京関東ライオンズクラブ）

ボクがヨーロッパでただ一つ行っていなかった国がアルバニアだった。

「バルカンの孤児」「唯一の正当社会主義国」「ヨーロッパの最貧国」などと称されていたこの国だが、一九九一年ごろから、長年にわたってとり続けてきた鎖国政策を改め、自由経済の道を歩み始めたので、少数ではあるが外国からの観光客を受け入れるようになってきた。しかし、その多くはヨーロッパの近隣諸国に限られ、日本からの団体旅行は、ほとんどないに等しかった。

●

アルバニアと言われて、すぐ世界のどこにあるかを言える人は、よほど旅慣れた人だろう。この国はバルカン半島の西側にあって、アドリア海とイオニア海を挟んでイタリアと向き合い、北は旧ユーゴスラビア、東はマケドニア、そして南はギリシャと国境を接している。日本からの直行便はないので、ローマ、アテネ、ウィーンなどで乗り換えなければならない。また在外公館もないから、それらの国でビザを取らないと入国出来ない。

国の広さは日本の愛知、岐阜、長野の三県を合わせたくらいの大きさで、首都はティラナと言い、国土のほぼ中央に位置している。そしてティラナ市街はスカンデルベク広場を中心として、国立博物館、ティラナ大学などが、整然とした都市計画の下に配置されている。

さて、このアルバニア訪問の旅は参加者たった四人という、家族的な旅になった。そのメンバーと言えば、七十四歳になられたT氏夫妻と、地方公務員のI氏、そしてボクという組み合わせだ。T氏はなかなかのお話好きだ。目に入るものすべてが即、言葉となって出てくる。女性がおしゃべりなのにはもう驚かないが、男性のそれは珍しい。でもT氏のおしゃべりは、なかなかいいことを言われるし、第一、起きているか、寝ているかの区別が判然として分かりやすいので、ぜんぜん悪い気はしない。

「やあ、この国にはトーチカが多いですねえ。ほら！　あそこなんかは五つも六つも並んでいるじゃあないですか。こっちにあるのは大きいなあ。鉄のドアーもついているし、頑丈だから十人ぐらいは入れるかもしれませんねえ」

そう言われて辺りを見回すと、なるほど沿道のあちこちに、たくさんのトーチカが見え隠れしている。更に、山の中腹にも、畑の中にも、海岸にも、おびただしい数のトーチカが不気味に並んでいるのが見える。このT氏が「トーチカを買って帰る」と言い出したから、みんなビックリ！　大騒動の物語はマケドニアまで続いた。

こころのチキンスープ ●ライオンズ編

不屈の人

構成／青山研

黄金は火によって精錬され、人間は不幸のるつぼで試される。

――テオグニス――

長い人生の道程には、思いもよらぬことが待ち構えていることがある。ひるむ。ひるむのが当たり前だ。太宰府ライオンズクラブのライオン高田耕治は、少年の日、突然の不幸に襲われた。けれども、少年は決してひるまなかった。

時は、太平洋戦争末期。所は、九州太宰府。敗色の濃い日本では本土決戦が叫ばれ、兵士たちは敵を迎え撃つために壕を掘り、そこに弾薬や信管を貯蔵していた。そしてそのまま終戦。弾薬や信管はあらかた持ち去られたが、撤去が慌ただしかっただけに、壕を掘り起こすと、信管が出てきた。子どもたちは、それを破裂させて遊んだ。

運命の日が来た。高田少年が十三歳のある日、友達が遊びに来た。

「おい、いっぱい見つけたから、五～六本持ってきたよ」

友達が、信管を数本持ってきてくれた。早速水に入れて破裂させて遊んだ。破裂させると花火のようで面白かった。いくつ目だったろうか。指で信管を叩いた。瞬間、激しい音と共に激烈な痛みが少年を襲った。気がついたら、両目の視力を失い、左手の指がなくなっていた。右手の親指も動かなかった。一瞬のことだった。わずかに残っていた光も年と共に弱り、十七歳の年、視界は完全に闇になった。福岡市内の盲学校に通うことになった。

怖くて歩けなかった。盲学校には寮もあったが、高田青年は、敢えて通学する道を選んだ。歩くことが新しい挑戦になった。

「兄貴、送り迎えはおれがやる」

福岡一の名門高校に通う上の弟が、兄の決意を後押しするように送迎を買って出た。太宰府から電車に乗り、二日市駅で乗り換え、福岡まで。電車に乗り込むと、弟は兄を隅の席に腰掛けさせ、自分は兄を守るように傍らに立ち、英語の辞書を開いた。雨の日も風の日も、兄は弟を気遣い、弟は兄をいたわり、高田青年は次第に闇の中を歩けるようになっていく。一方、青年はラジオで英会

イラスト／吉田悦子

話の勉強も始めた。繰り返す日々の中で、耳が英語に慣れていくのが分かった。聞くことから話すことへの道は近かった。

挑戦は更に続く。高田青年の家の近くに柔道の町道場があった。勘を磨くため、青年は道場入門を決意する。

「高田君、目が見えないからといって、決して容赦はしないぞ。他と差別するようなことはしないが、それでも良いか」

師範の言葉に嘘はなかった。師範に挑むと、手心もなく叩きつけられた。立ち上がる。相手がどこにいるのか分からぬままに、つかまれ、手もなく投げつけられる。歯を食いしばって立ち上がると、また叩きつけられる。手加減がない。滅茶苦茶に投げられた。稽古は夜八時から十時まで、その繰り返しだった。辛かった。師もまた辛かったに違いない。

やがて気配がつかめるようになってきた。投げ技をかけようとする相手の気配が読めた。師範はその日を待っていたのだ。初段から二段へ、めきめきと力がついていく。後年、段位は七段まで上り、全日本視覚障害者柔道連盟の副会長を務めるに至った。

高田青年は、鍼灸の道へ進んだ。地元の太宰府に高田鍼灸治療院を開院し、三十歳の春には結婚、翌年長男、続いて二人の男の子に恵まれた。少年の日の思いもよらぬ災厄を見事にも乗り越えた不屈の人は、還暦も近いある日、患者の一人から思いがけぬ誘いを受ける。

「あなたはそうでもないかもしれないが、障害者の方は人の世話になっています。世話になりっぱなしでは駄目です。高田さん、どうです、社会に奉仕するためにライオンズクラブに入りませんか。例会の送り迎えは、私はもちろんクラブの皆がさせてもらうから」

思えば、家族や町道場の師範を始め、これまでどれだけの人に支えられてきたことか。否やはなかった。長く務めた地元の業界団体、盲人会の会長を他に譲り、社会奉仕に精進する道を選んだ。

某日。太宰府ライオンズクラブはオランダのYE生を受け入れた。背の高い女の子だった。L高田が独学の英語で話しかけた。

「ずいぶん背が高いね。何でそんなに背が伸びたの？　いつも何食べてたのかな？」

二人で大笑いになった。周りのライオンたちも大笑いだった。不屈の人が入ってから、クラブの雰囲気はますます明るくなったようだった。

選：河相正名（日本写真家協会会員）

MY BEST SHOT

安藤正一
愛知県豊田
［ギョロ］

●選評
ガランとして人気のない堂内での記念撮影の一コマ。奇麗に着飾ったうれしさと恥ずかしさが入り交じり、かなり緊張気味の子どもの心情が見事にとらえられている。どこを見ればよいのか戸惑っている時に、画面の右辺りから声が掛かり目だけをギョロリと向けた瞬間。少し大きめのポックリも愛らしさを強調している。七五三の宮参り、子どもの成長を記録した素晴らしい一枚となるだろう。

石川隆之　愛知県豊田
［秋の色］

藤根秀夫　愛知県豊田
［七五三宮参り］

畔柳東一　愛知県岡崎竜城
［秋の頃］

松下正治　大阪梅田新道
［それ行け！トライだ］

横内孟　山梨県南アルプス［紅葉の白樺林］
山田隆　群馬県境［初冬］
梅田尊　愛知県豊田［秋］
鳥羽孝哉　長野県松本アルプス［雪の棚田］
団英男　兵庫県神戸レインボー［凛然］
菊野善之助　愛媛県松山［晩秋のハス田］
坂崎初雄　徳島東［秋深し］
上野春夫　広島県三原［大漁節］
重藤一美　広島県甲山［港神戸］
濱田孝一　宮崎フェニックス［日本一!!］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

［桜花恵那山］日本画100号

恵那山（二、一九〇㍍）は深田久弥による「日本百名山」の一つに数えられています。その百名山の選定に当たり三つ基準を置いたとのこと。「第一は山の品格である。第二に山の歴史。昔から人間と深いかかわりを持った山を尊重する。第三は個性のある山である」と言っています。

他方、木曽川の中流域に、日本初のダム式発電所の大井ダムによって出来上がった人造湖は、恵那峡と名付けられ日本百選にも選ばれた名勝地となっています。

遠山幸男
岐阜県・恵那ライオンズクラブ
日本画家

春は桜、初夏の新緑、秋は紅葉、冬には渡り鳥や雪景色。そんな四季折々の味わい深い自然を借景の庭として眺め、また身を置いて制作したのが、この「桜花恵那山」です。

毎年四月十日前後、冠雪の恵那山、恵那峡に満開の桜という絵のような風景に出会うことが出来ます。この美しい自然を後世に守り伝えたいと願いながら描いた作品です。

（とおやま　ゆきお・65歳）

信頼の名門ラドーから、比類なき勝者の輝きを誇る限定版腕時計——

ダイヤスター ゴールデン ラドー グランドデラックス

スイス製　紳士用オリジナル自動巻腕時計　全世界限定2,500点

傷に強い　不朽のデザイン
抜群の装着感

他の追随を許さない、それがラドーの基準

独自の美学に基づいた自動巻腕時計の決定版
紳士の腕で、堂々たる威厳と存在感を誇ります

世界に先駆けてご紹介

- ダイヤモンドに次ぐ硬度を誇るラドーサファイアクリスタル
- ラドーハードメタルとCVD仕上げ
- 自動巻ムーブメント
- ダイヤモンド1石
- 全世界限定2,500点 エディションナンバー入り
- お1人様1点限り
- 申込締切日 2006年3月31日

世界で初めての"スクラッチプルーフ(傷に強い)"時計として一世を風靡(ふうび)したラドーのベストセラー「ダイヤスター」が、黄金色をまとって誕生。伝統のバレルライン(樽形)を描くケースは、時計界に革命を起こした「ラドーハードメタル」のCVD仕上げ。風防の「ラドーサファイアクリスタル」の独自のカットとともに眩(まばゆ)く輝きます。人間工学に基づいたブレスレットは紳士の腕にしなやかになじみ、インデックスには気高く光るダイヤが1石。堂々たる王者の風格、その圧倒的な印象は、貴方の存在感をさらに高いものにするでしょう。

ラドー　1917年スイスに創業。57年に誕生したブランド「RADO」の個性的で頑丈な時計は瞬く間に世界市場へ浸透。62年世界初のスクラッチプルーフ時計「ダイヤスター」を発表。優美で独創的なフォルムと比類なき高精度は数々のデザイン賞を受賞、世界中の時計ファンを魅了し続けている。

仕様
●材質：ケース＝ハードメタル(CVD仕上げ)、ケースバック＝ステンレス、風防＝サファイアクリスタル、ブレスレット＝ステンレス(PVD仕上げ)、ダイヤモンド1石●ケースサイズ(約)：43×35mm●使用寸法(約)：S＝16.5センチ、M＝17.5センチ、L＝19センチ●ムーブメント：自動巻き●日常生活用防水●スイス製

お申し込みは 電話 FAX ハガキ で今すぐに!!

JADMA 社団法人日本通信販売協会会員

商品番号 03526-0691-01　ダイヤスター<ゴールデン ラドー>グランドデラックス　紳士用オリジナル自動巻腕時計

月々8,200円(税込8,610円)の12回払い　分割価格98,400円(税込103,320円)実質年率7.50%

一括価格94,500円(税込99,225円)

お電話でのお申し込み　全国どこからでも無料

通話料無料 **0120-111-100**

●専用：午前9時～午後8時まで(日曜・祝日もお受けします)

FAXでのお申し込み　24時間受付

通信料無料 **0120-917-918**(年中無休)

FAXでご注文の場合も記入事項を必ず明記してください。

ハガキでのお申し込み

(宛先)
〒 郵便はがき 259-0191
二宮郵便局 私書箱7号
I・E・I 湘南受注センター

(記入事項)
商品番号　商品名
支払い方法
(分割振込・一括振込・代引き)
お名前(フリガナ) 印
ご住所(フリガナ)
お電話
ご職業　生年月日
時計のサイズ
(S・M・L)

左記要領で商品番号・商品名・ご住所(フリガナ)・お名前(フリガナ)・ご職業・生年月日を明記の上、お申し込みください。

※クレジットカードをご利用の方は、お電話でお申し込みください。

■**ご注文品のお届け**　商品は申込受付の2～4週間後にお届けします。発送手数料として600円(税込630円)を申し受けます。■**お支払い方法**　お支払いは、分割振込・一括振込(お送りする振込用紙に振込手数料を添えて、郵便局かコンビニでお支払い)、代金引換(商品お届け時に代金と引き換え。一括払いのみ)、クレジットカードがお選びいただけます。お申し込み内容によりましては、お支払い方法を変更していただく場合がございます。■**お買い上げ後の返品・お取り換え**　商品にご満足いただけない場合は、商品到着後2週間以内にご返送ください。瑕疵品に限り、当社が送料を負担します。●お申し込みの方は、当社の加盟する信用情報機関に信用情報が登録されることに同意していただきます。

I・E・I　インペリアル・エンタープライズ株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番15号
アイ・イー・アイ
I・E・Iはインペリアル・エンタープライズ(株)の略称です。

http://www.iei.co.jp ©I・E・I 2006／03526

読者プレゼント

EDITOR'S ROOM

■壺屋焼のカラカラを五人の読者に

「ふるさと探訪」(36ページ)に登場した沖縄ライオンズクラブから、沖縄の特産品、壺屋焼のカラカラとぐい飲みのセットが、五人の読者にプレゼントされます。

カラカラは沖縄産の焼酎・泡盛を入れるための酒器。その名の由来は、酒好きのお坊さんが、お供え餅の形からヒントを得て倒れにくい形の徳利を考案したところ、それが好評で「カラカラ(貸せ貸せ)」とあちこちから声が掛かったからとも、音がカラカラ鳴るからとも言われています。

■博多ラーメンを五人の読者に

『ライオン』誌から、乾麺タイプの博多ラーメンを五人の読者にプレゼントします。

博多ラーメンは長浜地区の屋台で出していたラーメンが発祥で、極細麺と豚骨スープが特徴です。骨からゼラチンなどが溶けだして、乳化・白濁した濃厚な味をお楽しみください。紅ショウガを乗せてどうぞ。

■「プラド美術館展」チケットを十人の読者に

三月二十五日から六月三十日まで、東京・上野の東京都美術館で開催される「プラド美術館展　スペインの誇り、巨匠たちの殿堂」のチケット(二枚一組)が十人の読者にプレゼントされます。

世界屈指の絵画の殿堂・プラド美術館。本展では、イタリア・ルネサンスを代表する巨匠ティツィアーノから、近代絵画のさきがけとなったゴヤまで、厳選された八十一点の名画が一堂に並びます。同美術館のコレクション形成の歴史も紹介。

ティツィアーノ／皇帝カール5世と猟犬／Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado. Madrid

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「カラカラ」「ラーメン」「プラド」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は3月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階

ウェブサイトからの応募
www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

『ライオン』誌日本語版バック・ナンバー

2005年12月号

明日のライオンズを考える / ライオンズクラブ統計 / 334複合地区特集：ふるさと探訪・愛知県幸田ほか

2006年1月号

視力ファースト/ キャビネット運営 / 335複合地区特集：ふるさと探訪・大阪府富田林ほか

2006年2月号

ライオンズ-クエスト・プログラム/ 国際大会参加/ 336複合地区特集：ふるさと探訪・香川県高松ほか

次号予告

THEME
食育

子どもの心と体の健全な成長のために欠かせない「食育」。近年その重要性が注目され、昨年六月には「食育基本法」が成立した。子どもに必要な食事・栄養とは何か、なぜ必要なのか。ベストセラー『粗食のすすめ』ほか多くの著書を持つ、フーズアンドヘルス研究所代表の幕内秀夫氏が提言する。

SCENE

愛媛県・新居浜中央ライオンズクラブの小学校での塩田再現を紹介。

ROAR・ローア
――まるごと330複合地区

四月号は330複合地区特集。「ふるさと探訪」は神奈川県横須賀の猿島を訪ねる。東京湾唯一の自然島「猿島」。島特産「猿島わかめ」の養殖場を訪ね、刈り入れ作業を取材する。また、戦時中軍事要塞だった猿島には、当時のレンガ造りの建物が残り、独特な雰囲気を醸し出している。

Pick Up　CSFⅡ

日本でCSFⅡを牽引する、ナショナル・コーディネーターによる座談会。

四月号から『ライオン』誌が全ページカラーにリニューアル！

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

「盲人のための騎士として」

ライオン誌
日本語版委員
◉
笹本瞭

私たちライオンズクラブは、三重苦の聖女・ヘレン・ケラー女史の「ライオンズよ暗闇と闘う盲人の騎士たれ」という言葉を真摯に受けとめ、「失明の人に光を」を合い言葉に、八複合地区それぞれがアイバンク活動に日夜努力されており、頭の下がる思いでいっぱいです。

角膜移植のためのアイバンクは、現在、全国に五十四カ所あります。ライオンズクラブは、その運営資金の大部分を拠出しているだけでなく、運営自体にも参画しています。毎年、各会員から決まった額の拠出金を集めてアイバンクを支援している地区もあります。

アイバンクの活動にライオンズは金銭アクティビティと労力アクティビティで、多大な貢献をしているにもかかわらず、物故ライオンが献眼する比率が非常に低くて残念でなりません。

一般の方々に、日々、献眼登録及び献眼を訴えている我々ライオンズクラブのメンバーは、自ら率先して献眼出来るよう、事前に家族との話し合いはもちろん、クラブ内でもよく話し合って、啓発活動に務められることを願っています。

重ねて申し上げます。角膜は眼球の最前部にある黒目と呼ばれる透明な組織です。角膜が透明であれば、近視や遠視、乱視、老眼、白内障、緑内障、年齢などに関係なく献眼することが出来ます。

現在、角膜疾患のための視覚障害者は五万人近くもおり、角膜移植を心待ちにしている人は、全国に平成十五年十一月末で四千九十八人です。

㈶日本アイバンク協会では、献眼運動の推進のため、まず、献眼者と移植希望者、医療機関などの調整にあたる「アイバンク・コーディネーター」と、献眼運動の普及のほかアイバンク業務を補助する「協会認定サポーター」の養成を急いでいます。

ライオンズクラブは役員の任期が一年なので、そうした専門家を育てるのに必要な継続的関与が難しいのが現状です。しかし、試行錯誤の末に、長年にわたって驚異的な成果を上げているアイバンク及びクラブもあります。

相手の目を見て話せる幸せ、この幸せをまだ見ぬ人へ、一人でも多くの方にかなえられるよう、ライオンズがアイバンク活動に大いに寄与されんことを願ってやみません。

河川失明症＝ブユが人を刺して幼虫を人体に入り込ませ、それにより強烈なかゆみ、皮膚の変色を引き起こし、重症の場合は失明に至る。アフリカでは27万人が失明

世界が待っています

2020年までにトラコーマと河川失明症を地球上からなくすために

1990年当時、世界の盲人の数は2005年までに5,200万人に上ると推定されていました。
が、この年に始まった視力ファーストによって、現在は3,700万人に抑えられています。
視力ファーストが今、中止になると、2020年の盲人の数は7,000万人に増加すると言われています。
視力ファーストⅡは、途上国で猛威をふるうトラコーマと河川失明症を2020年までに地球上からなくし、
小児期の失明を防止するために、更なる挑戦を続けます。

ライオン誌三月号　昭和三十三年十二月十九日付第三種郵便物認可　定価百八十円　送料実費七十六円
二〇〇六年（平成十八年）二月二十日発行　毎月一回二十日発行　第四十八巻第九号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒一〇四-〇〇四五　東京都中央区築地二-二-一　築地細田ビル七階　Tel（〇三）三五四二-九五七一　印刷所　凸版印刷株式会社